6年の学習
GAKUSHU
10月教材
社団法人日本PTA全国協議会推薦
学習指導要領に対応
第2学習教材●社会科
人物まんが
日本の歴史
下
江戸時代末から現代まで
教科書の「歴史」の勉強がよくわかる

もくじ

＊この本に出てくる人物は、生まれた年を１才として計算してあります。

←新政府軍を指揮して大活やくをした西郷隆盛。
第一部
江戸幕府の終わり
黒船の来航や、一揆・打ちこわしなどによって、長く続いた江戸幕府も、ついに終わりをむかえた……。
→江戸時代末期にやってきた黒船のすがたにおどろく坂本龍馬。

人物まんが

坂本龍馬と西郷隆盛を読む前に

江戸幕府の長い鎖国がうち破られた、およそ百三十年ほど前……。日本は動乱のさ中にあった。そんな中で土佐藩（高知県）の坂本龍馬、薩摩藩（鹿児島県）の西郷隆盛はどんなことを考え、何をしたのか見てみよう。

これを見た各藩の下級の青年武士が日本を救うために立ち上がった。

その中でも幕府をたおし、新しい明治政府をつくるのに功をたてたのが……

人物まんが

幕末の志士　官軍の大将
坂本龍馬と西郷隆盛

土佐の坂本龍馬と、

ふたりの強れつな生き方は、時代を大きく変えていくことになる。

絵・ムロタニツネ象

薩摩の
西郷隆盛
だった！

一 きたえられた隆盛の少年時代

西郷隆盛は一八二七年、薩摩藩の島津氏の城下町で下級武士の子として生まれた。

郷中教育というのは、薩摩藩独特の教育のやり方だね。
五十けんくらいの武家が一つのグループになったのを郷中といって、

六才から十四才位までの少年を稚子とよび、
十四才から二十四才位までの青年を二歳とよび、
(二歳)
(稚子)

先ぱいの二歳は稚子の学習のめんどうをみるんだよ。

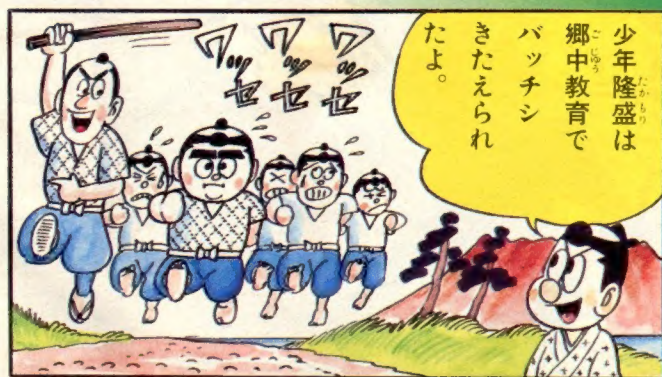
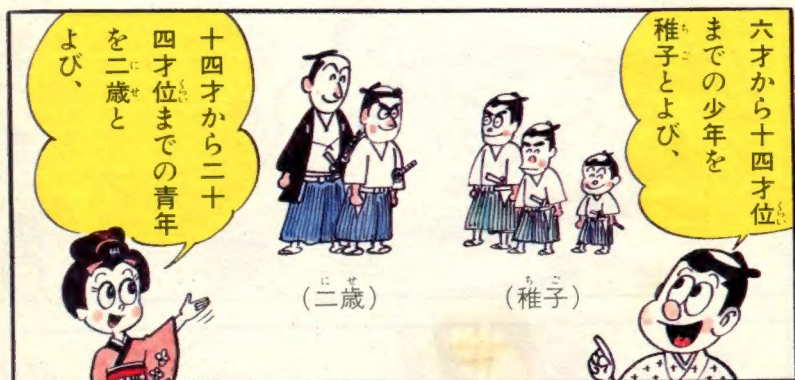
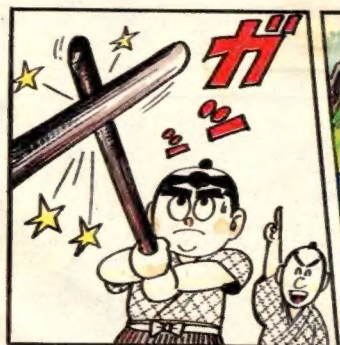
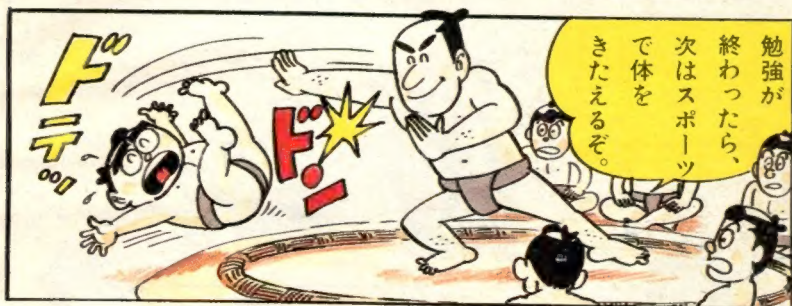
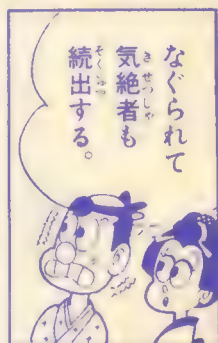
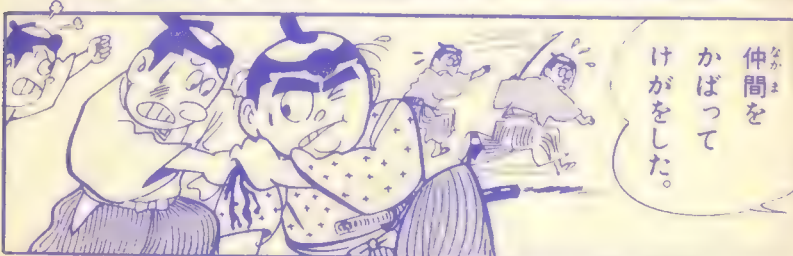
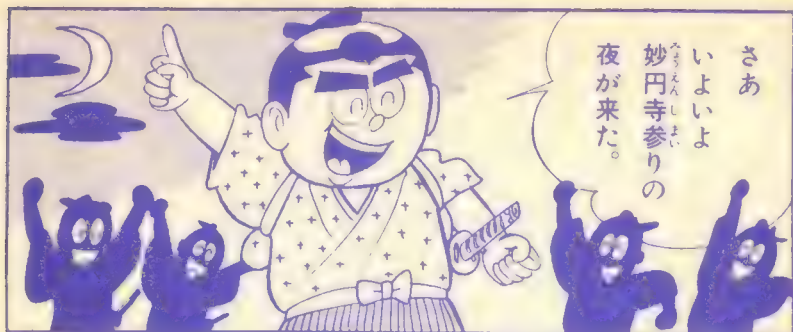
勉強も
一人ずつ
ていねいに
教えたから、
おくれて行くと
何時間も
待たされた。

勉強が
終わったら、
次はスポーツ
で体を
きたえるぞ。
ドン
ドテーッ!!

ガツン!!

薩摩藩の剣術は示現流で、竹刀を使わず棒を使うあらげいこだよ。

なぐられて気絶者も続出する。

しかし、先ぱいと後はいの仲の良さは兄弟以上だった。

妙円寺参り…関ヶ原の戦いで敗れて、命からがら国へ帰り着いた先祖の苦労をしのぶために、毎年続けられていた薩摩藩の9月14日の夜のマラソン行事のこと。

筋が切れたので、もう、剣術は無理のようじゃ。
剣術はだめでも、でっかい心ででっかい仕事のできる男になりもすっ。

十八才の時、名を小吉から吉之助と改めたよ。
年貢取り立て役人の見習いとなった。

大久保どんは記録所の事務員でごわすか。
大久保一蔵(後の利通)は西郷と幕府をたおすことになるよ。

二 「黒船」に日本の危機を知る坂本龍馬

おっ！たてがみの生えた子じゃ。龍馬と名付けよう。

きっと天馬のように日本中をかけめぐるぞ。

ところがところが、龍馬はだめがきだった。

あらまたおねしょですかっ。

ムニャムニャ

龍馬の姉、乙女は坂本のお仁王様とあだ名のある女ごうけつだったよ。

剣術、乗馬の名人だった。

ドガガッ

おそろしー。

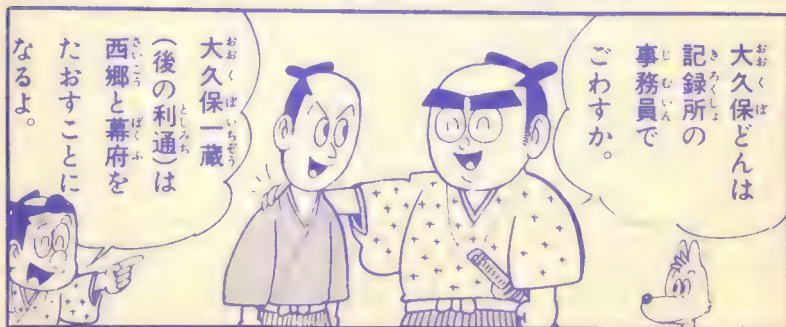
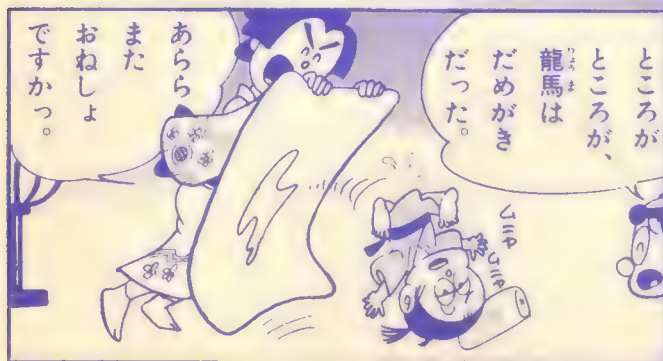
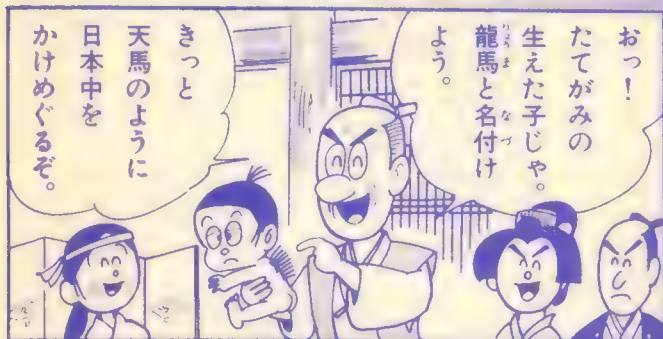
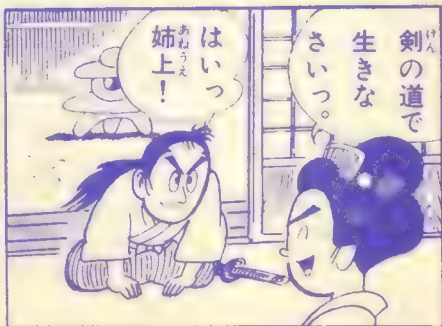
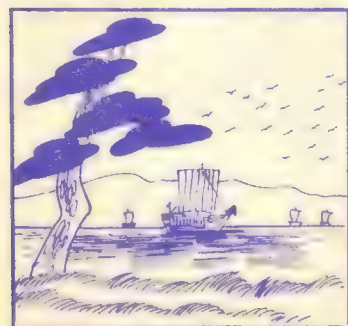
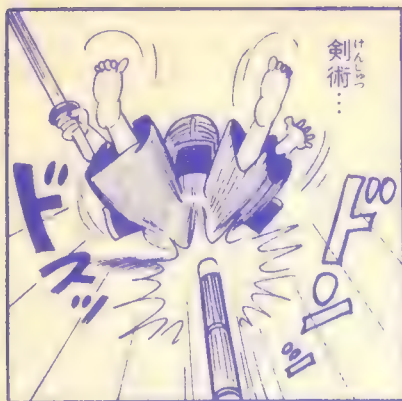
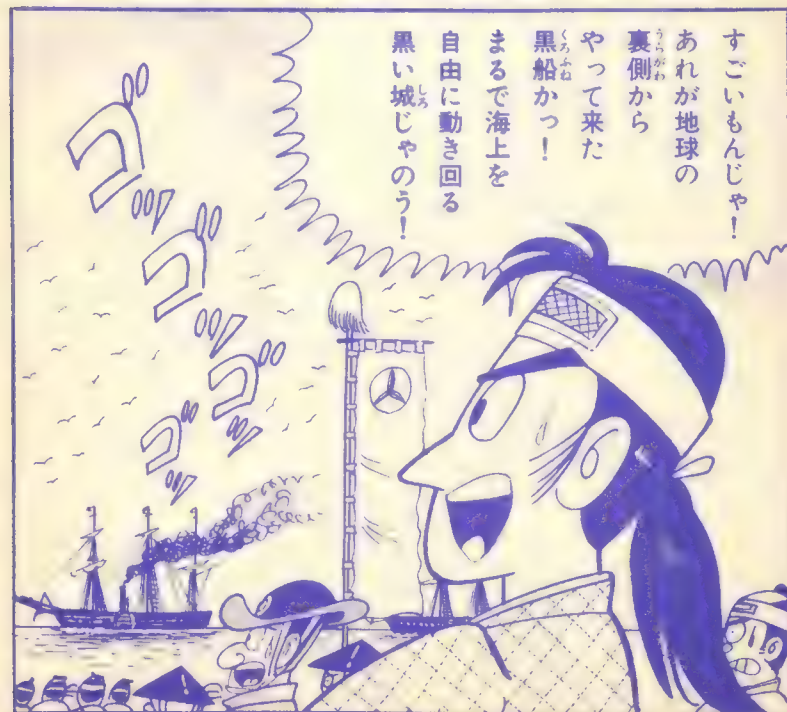
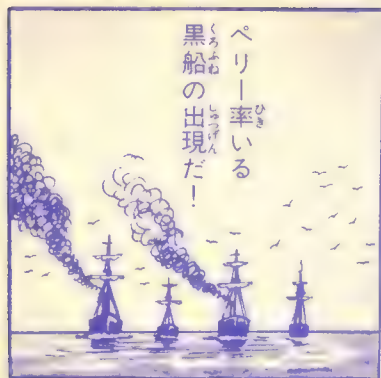
水泳…

剣術…
ドスッ
ドッ

乙女姉さんにしごかれて、龍馬はたくましく育った。

十九才の時、日根野道場の免許皆伝をとり、江戸(東京)の千葉道場への紹介状をもらった。

剣の道で生きなさいっ。
はいっ姉上!

すごいもんじゃ！あれが地球の裏側からやって来た黒船かっ！まるで海上を自由に動き回る黒い城じゃのう！

一八五三年六月、江戸幕府二百数十年のねむりは、ペリー提督率いる四せきのアメリカ東インド艦隊の出現で破られた。龍馬や隆盛が活やくする舞台は整いつつあった。

三 安政の大獄や桜田門外の変が起こる

幕府の大老井伊直弼め、アメリカのおどしに負けて朝廷の許しもなしに、アメリカ総領事のハリスと日米修好通商条約を結びおった、けしからん！

天皇の命令を聞けっ。外国人は追っぱらえ。
これが尊王攘夷の運動ね。

江戸城
幕府に逆らう者はろうにぶちこめ。
大名であろうと公家であろうとばっせよ。

これが有名な「安政の大獄」だ。
ろうに入れられる者、
死刑になる者、
きんしんを受ける大名や公家たち。

この大事なときに我がとの斉彬様がお亡くなりになった!

尊王派の月照どの、我が薩摩におにげください。
ところが薩摩に着くと
藩ではかくまい申さん、切れとの命令です。

斉彬様がおられたら、こんな冷たい仕打ちはなさらん。
月照どの一人を死なせはしませんぞっ。

鹿児島湾に二人で身を投げたが、
くそっ!泳ぎのうまいおいどんだけ生き返った。

隆盛は
奄美大島に
流罪と
なった。

島では
悪い砂糖役人を
こらしめたり
して、
島民の
英雄となった。

その間にも
江戸では
井伊大老が
「安政の大獄」の
仕返しを受け、
江戸城の
桜田門の外で
暗殺された。

四　龍馬、勝海舟に会い開国派となる

せっかく長州まで来てもらったが……、

武市さんの勤王論は無理です。
久坂玄瑞

なぜなら藩主は幕臣だし、家老や上級武士は維新を望んではいない。

だから我われ下級武士が藩をこえて団結し、維新を行うべきです。
なるほど。久坂さんの言う通りじゃ!

薩摩藩の島津久光が大軍を率いて京都へやって来るというので、京都の志士たちは勢いづいたよ。
久光様に倒幕の火ぶたを切っていただこうではないかっ。

ところが…
倒幕などとばかな！わしは天皇をバックにして幕府の中で発言力を強めたいだけだ！
島津久光

わしは公武合体、つまり将軍家と皇室が合体すればいいという考えじゃ。
京都の寺田屋に集合している我が藩の志士を切れっ。

久光は寺田屋にいた家来を八人も、上意討ちにしたというではないかっ！

中岡慎太郎

久坂さんの言った通り、石頭の大名どもには維新などの考えは一かけらもないのじゃ！

咸臨丸でアメリカへ行ってきたという、西洋かぶれの勝は龍馬が切るっ！

千葉道場の千葉重太郎と二人で、勝海舟のやしきへおしかけた。
わたしが勝だが……。

きみたちゃ、開国論者のこしぬけ勝を切りに来たんだろ！
顔にそう書いてあるよ。アハハハ…。

*清…当時の中国。

坂本くん！黒船を見たろ！勝てると思うかね。
尊王はいいとしても、攘夷は無理だよ。できっこない。

アジアの大国、*清を破ったイギリスは、日本と同じちっぽけな島国だが、
強力な海軍力で世界にのしてきた。

攘夷が無理なら開国をおしすすめて日本も外国をまねて強い海軍をつくることだ！
なるほど……。

わたしは強い海軍を育てる学校をつくるぞ。

勝先生、わしを弟子にしてください。

勝先生がつくった神戸海軍操練所の塾頭になった。
塾生は五百人も集まった。

ところがそのほとんどが幕府にたてつく志士だったので…、

学校はつぶされたが、龍馬らは西郷さんのところで海軍のコーチをやれ！

五 薩長同盟が結ばれる

先に島津久光が大軍を連れて京都へ向かったとき

久光のいかりにふれた西郷は島流しになっていた。

西郷さんはこれで二度目の島流しだよ。

翌年イギリスと薩摩藩はこれが原因で戦った。

ドドド

ばかなこつば…。

久光様！長州藩（山口県）は京都を占領して天皇に討幕の命令を出させる計画です。
大久保利通

ならん！わしはあくまで公武合体の考えじゃ。長州を京都へ入れるなっ。
しかし、我が軍の司令官がいませんっ！

西郷を島からよびもどしてください。
気にくわんやつだが許す。
ムッ

*隆盛は蛤御門の戦いのあった一八六四年九月、神戸の海軍操練所で海舟と会った。

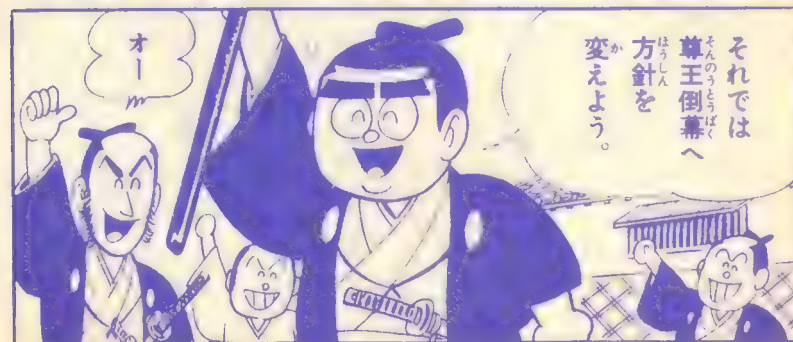
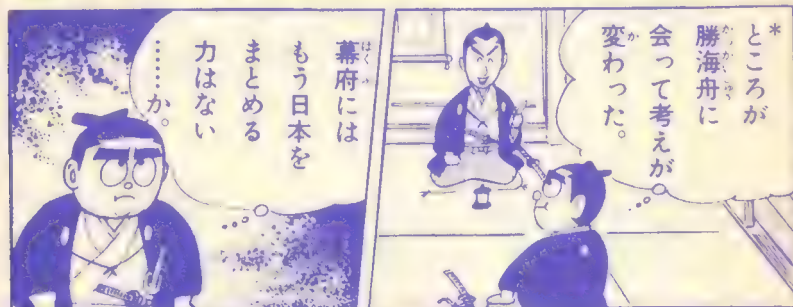
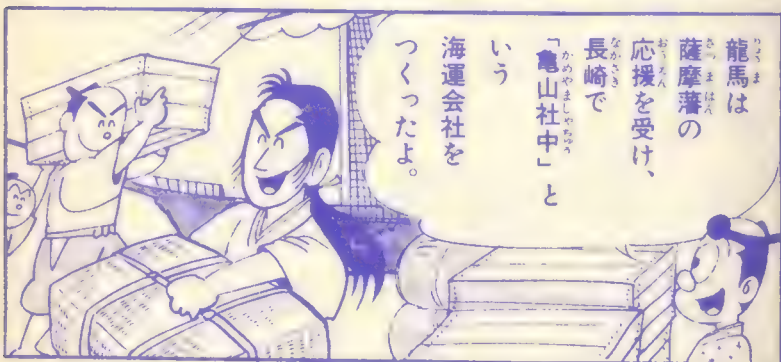
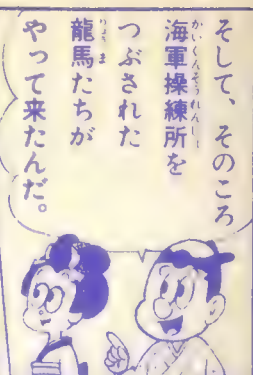
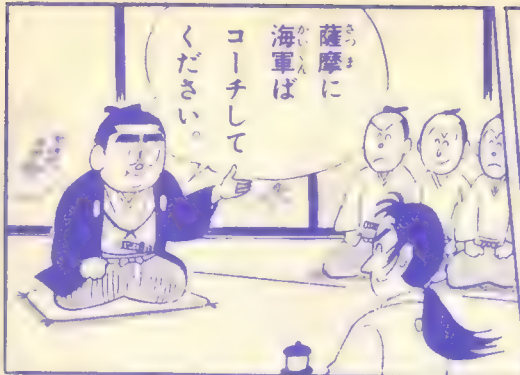
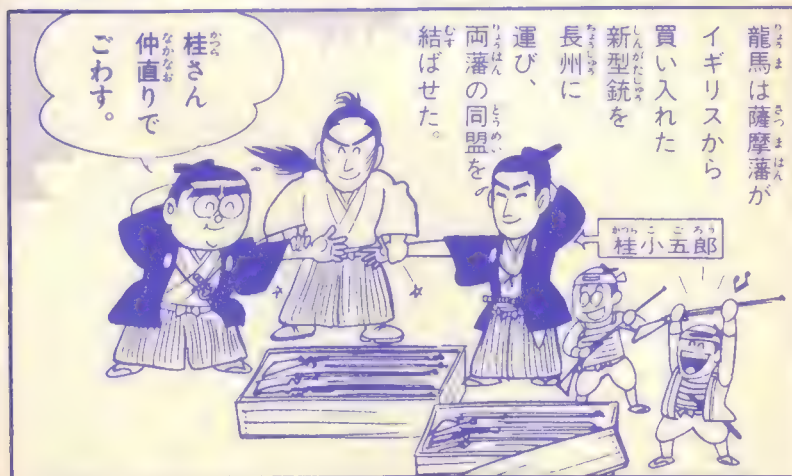
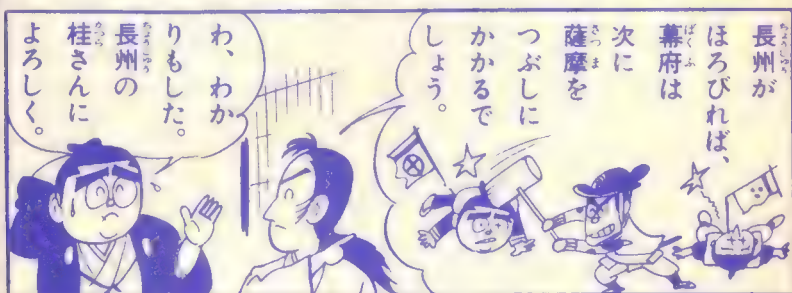
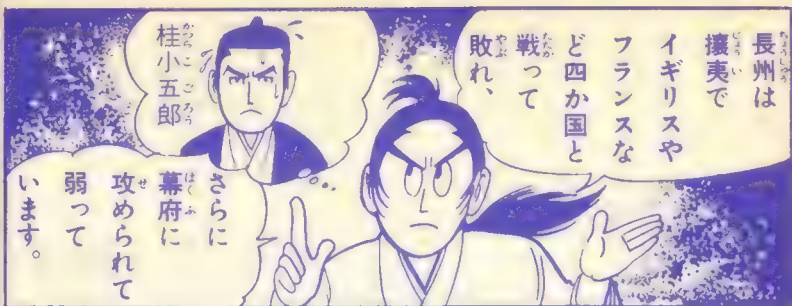
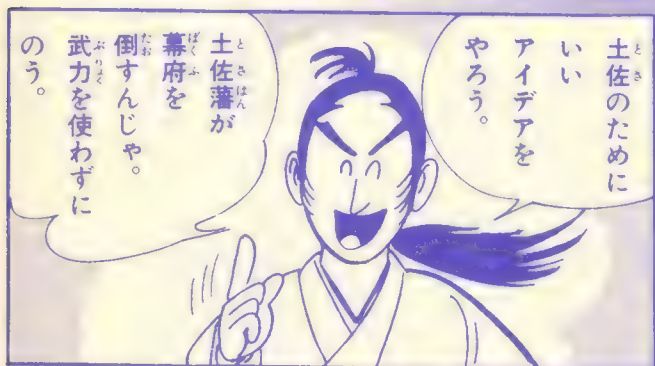
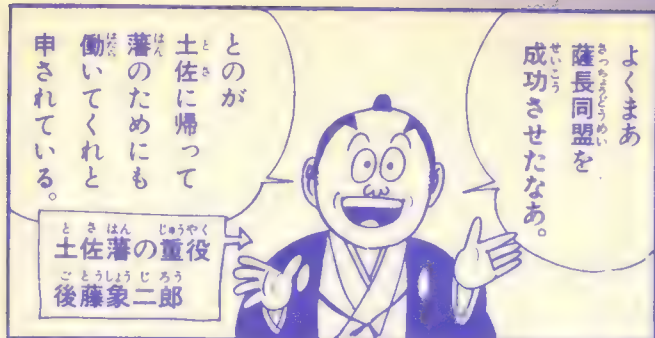
そして、そのころ海軍操練所をつぶされた龍馬たちがやって来たんだ。
薩摩に海軍ばコーチしてください。

龍馬は薩摩藩の応援を受け、長崎で「亀山社中」という海運会社をつくったよ。

西郷さん、長州と同盟したら？
えっ
ライバルの長州とでごわすか！

龍馬は薩摩藩がイギリスから買い入れた新型銃を長州に運び、両藩の同盟を結ばせた。

桂さん仲直りでごわす。

桂小五郎

六 龍馬、大政奉還を成功させる

一八六七年十月
前の土佐藩主
山内豊信（容堂）の
すすめを受け、
十五代将軍
徳川慶喜は
大政奉還を
発表した。

政権を
天皇に
返す。

やったぜ
よーっ。

大政奉還
成功ーっ。

しまった。
先手を
うたれたかっ。

これでは
薩長の計画は
水のあわでごわす。

大久保利通
武力で幕府をたおして……、
岩倉具視
薩長の思い通りに動かせる新政府をつくろうと計画したのに。

なんとしても徳川慶喜に戦をさせねば……。

十一月
坂本龍馬と中岡慎太郎が京都の旅館近江屋で、何者かによって暗殺されたよ。

七 隆盛、江戸へ攻めのぼる

ついに幕府は薩長のさそいにのって鳥羽・伏見で戦いを起こしたよ。

しかし、新型銃でかためた薩長軍にコテンパンにやられた。

一八六八年
江戸城総攻げきの前日、
西郷と勝が会った。
江戸を
灰に
したくは
ない。
日本人同士
の戦争は
外国にすき
をねら
われ
もす。

江戸城は
勝が責任を持って
明けわたします。
わかり
もした。江戸
城攻げきは
やめまっ
しょ。

幕府は
たおれ、
薩摩と
長州が
中心となった
明治政府が
できた。
桂小五郎改め
木戸孝允
西郷隆盛
大久保利通

八

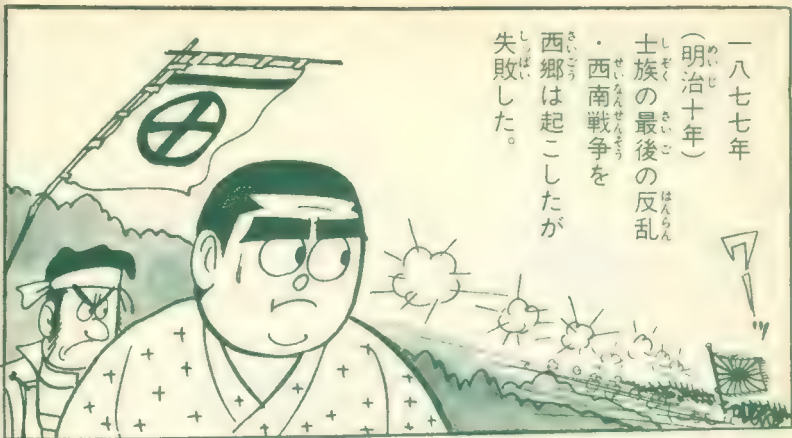
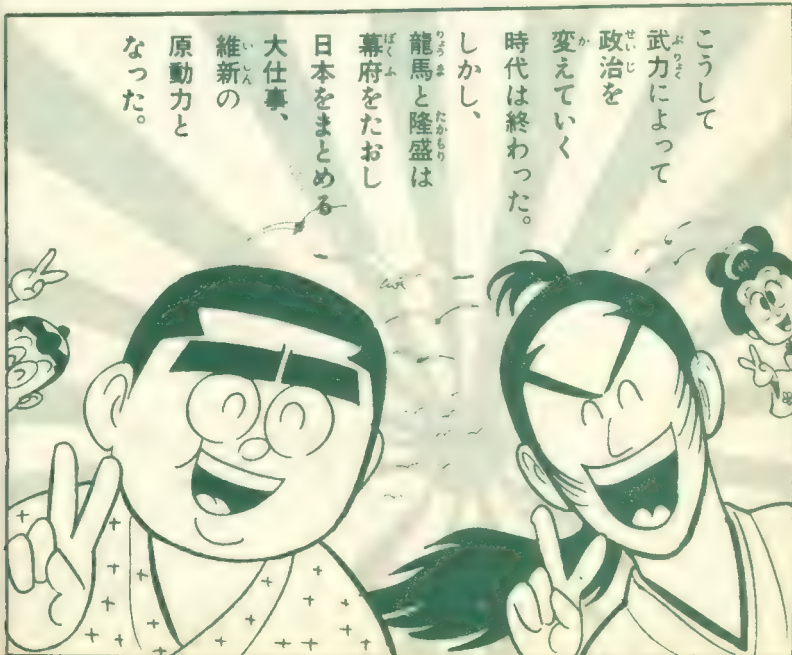
隆盛、西南戦争で死ぬ

新政府は、一ぱんの国民から兵隊を集めたので、
ざんぎり頭
もと武士だった士族は失業、生活にこまったよ。
ブツブツ
ブツブツ

不平士族を救うために西郷は*征韓論を唱えた。
板垣退助

幕府が外国と結んだ不平等な条約を改める交渉に、ヨーロッパへ行っていた岩倉や大久保は帰国して、それに反対した。

＊征韓論…朝鮮を攻めて領土などをうばおうとする意見。

西郷にやめられたら新政府はがたがたになる……。
最後のたのみだ、やめんでくれーっ。
西郷先生がやめるならおれたちも。

こうして
武力によって
政治を
変えていく
時代は終わった。
しかし、
龍馬と隆盛は
幕府をたおし
日本をまとめる
大仕事、
維新の
原動力と
なった。

人物まんが坂本龍馬と西郷隆盛のまとめ

一

一八二七年、薩摩藩（鹿児島県）の下級武士の家に西郷隆盛は生まれた。藩独特の郷中教育で、少年時代の隆盛はしっかりと、きたえられた。

二

十三才のころ、うでをけがして剣術を続けることができなくなった。

十八才のとき、名前を小吉から吉之助と改めた。そして年貢とりたて役人の見習いとなった。大久保一蔵（利通）もいっしょの役所にいた。

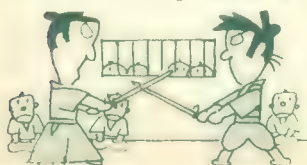
三

一八三五年、坂本龍馬も土佐藩（高知県）の下級武士の家に生まれた。

小さいころは、何をしてもだめなひ弱な子どもだったが、姉の乙女にきたえられ、次第にたくましい青年に成長した。

十九才のとき剣術修行のため、江戸の千葉道場に入門することになった。

四

この年、ペリーが日本へ来航し、幕府の命令で龍馬も土佐藩士として、江戸湾の沿岸警備に出かけた。

五

一八五四年、隆盛は江戸に出て島津藩の庭方役となった。

幕府の大老井伊直弼の結んだ日米修好通商条約をめぐり、反対運動か起こった。幕府は尊王派などの反対派を厳しく取りしまった。（安政の大獄）

六

隆盛は、尊王派の僧・月照を救おうとして、いろいろと手をつくした。

結局二人で海に身を投げたか、隆盛たけが生き残った。

隆盛は奄美大島へ流された。

このころ　龍馬は土佐勤王党に加わった。

七

龍馬はその後土佐藩を脱藩して、勝海舟の門下となった。海舟といっしょに行動をする中で、隆盛とも会う。そして薩長同盟の仲介をし、幕府の大政奉還を成功させるが暗殺されてしまう。

八

隆盛は藩主の許しか出ると、薩摩軍の司令官となり活やくした。

明治維新後は、新政府の参議に任ぜられたが、征韓論か反対されて鹿児島に帰った。

一八七七年、士族の最後の反乱である西南戦争を起こしたか、敗れて自殺した。

〈江戸幕府の終わり〉のおもな人物像

【大塩平八郎】 一七九三〜一八三七

江戸時代後期の儒学者。もと大阪町奉行所の役人だった。天保のききんに苦しむ人々を救おうとして大阪で乱を起こしたが、失敗して自殺した。

【水野忠邦】 一七九四〜一八五一

江戸時代後期の老中。政治をたてなおすために天保の改革を行ったが、きびしすぎたので人々の不満が高まり、二年でやめさせられた。

【間宮林蔵】 一七七五〜一八四四

江戸時代後期の役人で探検家。幕府の命令で樺太を探検し、樺太が島であり、大陸との間に海峡があることを発見した。これが間宮海峡である。

【緒方洪庵】 一八一〇〜一八六三

江戸時代末期の蘭学者・医学者。大阪に蘭学塾「適塾」を開き、大村益次郎、福沢諭吉らを教育した。また、西洋医学の基礎を築いた。

【ペリー】 一七九四〜一八五八

アメリカ合衆国の海軍司令官。一八五三年、浦賀に来航して開国を求め、翌年再び来航。幕府と日米和親条約を結び、日本を開国させた。

【ハリス】 一八〇四〜一八七八

アメリカ合衆国の外交官。幕末に最初の総領事として来日し、一八五八年、井伊直弼との間で、日米修好通商条約を結ぶことに成功した。

【井伊直弼】 一八一五～一八六〇

幕末の大老。日米修好通商条約を結び、それに反対する公家や大名・武士らを処罰した(安政の大獄)。そのため、水戸浪士らに江戸城の桜田門外で暗殺された。

【徳川斉昭】 一八〇〇～一八六〇

幕末の水戸藩主。十五代将軍徳川慶喜の父。藩政の改革を行い、幕政にも参加したが、尊王攘夷を主張したため、井伊直弼に処罰された。

【中浜万次郎】 一八二七～一八九八

土佐の漁師で、ジョン万次郎ともいう。幕末に漁船で漂流中、アメリカ船に助けられ、アメリカで教育を受ける。帰国後、幕府に仕え、英語教授や通訳として活やくした。

【吉田松陰】 一八三〇～一八五九

幕末の尊王論者で、思想家。長州藩士で、松下村塾を開き、木戸孝允や伊藤博文らを育てたが、通商条約調印に反対し、安政の大獄で死刑になった。

【橋本左内】 一八三四～一八五九

幕末の福井藩士。大阪に出て、緒方洪庵に医学・蘭学を学び、藩政の改革にあたる。徳川慶喜を将軍にするためにつくしたが、安政の大獄で死刑になった。

【山内豊信】 一八二七～一八七二

幕末の土佐藩主。安政の大獄で隠居させられたが、のち公武合体に力をつくし、尊王攘夷派を弾圧した。将軍徳川慶喜に大政奉還をすすめて、これを実現させた。号は容堂。

【坂本龍馬】一八三五～一八六七
幕末の土佐藩士。江戸に出て勝海舟の門下となったが、のち倒幕運動に加わって薩長同盟を結ばせ、大政奉還をすすめた。そのため、京都で暗殺された。

【高杉晋作】一八三九～一八六七
幕末の長州藩士で、吉田松陰に学ぶ。農民や町人などの有志による奇兵隊を組織し、外国艦隊の下関砲撃事件や幕府の長州征伐のときに活やくした。

【徳川家茂】一八四六～一八六六
江戸幕府第十四代将軍。紀伊藩主から将軍となり、和宮を妻にするなどして公武合体をすすめたが、長州征伐のとちゅう、大阪城で病死した。

【孝明天皇】一八三一～一八六六
幕末の天皇。明治天皇の父。公武合体を考え、妹の和宮を将軍家茂と結婚させた。尊王攘夷派に攘夷をせまられて苦労した。

【和宮】一八四六～一八七七
十四代将軍家茂の妻。孝明天皇の妹。公武合体のために家茂と結婚し、家茂の死後も江戸にとどまり、仏門に入る。戊辰戦争のとき徳川氏のためにつくした。

【徳川慶喜】一八三七～一九一三
江戸幕府最後の第十五代将軍。公武合体をすすめヨーロッパ式の制度を取り入れた幕政改革を行ったが、一八六七年、大政奉還を行い、政権を朝廷に返した。

【三条実美】 一八三七〜一八九一

幕末〜明治時代の公家出身の政治家。長州藩と結んで、尊王攘夷運動を積極的にすすめる。明治維新後は、新政府の中心となって活やくした。

【岩倉具視】 一八二五〜一八八三

幕末〜明治時代の公家出身の政治家。公武合体を唱えていたが、のち大久保利通らと結んで倒幕運動をおこし、王政復古をすすめて明治維新の中心人物として活やくした。

【西郷隆盛】 一八二七〜一八七七

薩摩藩出身の政治家。倒幕運動の指導者として明治維新で活やくした。その後、征韓論で反対されて鹿児島に帰り、西南戦争を起こしたが、敗れて自殺した。

【大久保利通】 一八三〇〜一八七八

薩摩藩出身の政治家。倒幕運動の中心になり、明治維新後は新政府の実権をにぎって、天皇制国家の基礎をつくったが、不平士族に暗殺された。

【木戸孝允】 一八三三〜一八七七

長州藩出身の政治家。幕末に薩長同盟を結んで倒幕運動をすすめ、明治政府の中心となった。西郷隆盛、大久保利通とともに維新の三傑といわれる。

【勝海舟】 一八二三〜一八九九

幕末〜明治時代の政治家。江戸幕府の海軍をつくり、遣米使節の随行艦咸臨丸を指揮する。のち西郷隆盛との間で江戸城の明けわたしに成功、江戸を戦火から救った。

江戸幕府の終わりQ&A

Q

井伊直弼はどうして「安政の大獄」を行ったのかな?

A

●**朝廷の許しのないまま、条約を結ぶ**

一八五六年、アメリカの総領事ハリスが着任した。ハリスは通商条約を結ぶことを目的として幕府と交渉を重ねたが、京都の朝廷は、条約を結ぶ許可を幕府に出そうとしなかった。

そのとき大老についたのが井伊直弼だった。直弼は、通商条約を結んで外国と貿易するのはやむをえないと考え、朝廷の許可のないまま、独断で条約を結んだ。

●**幕府の権威を保つため反対派をきびしく処罰**

朝廷や大名たちの意見を聞き入れない井伊大老のこのような政治に、反対する声が高まった。

＊安政の大獄…P.18～19も見よう

そのため、井伊大老は幕府の権威を保とうとして、一八五八年から一八五九年にかけて、反対派の人々を弾圧し、きびしく処罰した。

これが安政の大獄である。

処罰された人々の中には、橋本左内、吉田松陰、頼三樹三郎などがいた。

◀彦根（滋賀県）藩主から江戸幕府の大老になった井伊直弼

◀安政の大獄で処刑された思想家橋本左内　福井藩士だ

Q どういう人が咸臨丸に乗り、どこへ行ったのかな？

◀悪天候のため、あれくるう海の中を進む咸臨丸　このとき、九十名の日本人が乗船していた。

A

●幕府の軍艦咸臨丸でアメリカへ

一八五八年、日米修好通商条約が結ばれて、日本は世界の仲間入りをしたが、幕府は確認書をアメリカのワシントンで交換するために、一八六〇

◀幕末のころの、幕府の理論的指導者だった勝海舟

◀福沢諭吉　のちに慶応義塾（今の慶應義塾大学）を開いた

年、最初の遣米使節を送ることにした。

一行は、アメリカの軍艦ポーハタン号に乗せてもらうことになっていた。

このとき、使節団の乗る船を守るという名目で、幕府の軍艦咸臨丸もアメリカまで航海することになった。

●福沢諭吉も乗りこんでいた

咸臨丸は、幕府がオランダに造ってもらった軍艦で、三百トン、百馬力、長さ約四十七メートル、はば約七メートル、蒸気機関と帆を使って進む、という船だった。

艦長は勝海舟で、海舟の門下が操縦した。航海は悪天候になやまされたが、途中どこの港にも寄らず三十七日かかってサンフランシスコに着いた。

一行の中に、二十六才の福沢諭吉が木村提督の従者という資格で乗っていた。

「桜田門外の変」ってどんな事件だったの？

●直弼は反対派のうらみをかう

井伊直弼は安政の大獄によって、一時、反対派の勢いをおさえることができたが、かえって多くの人々のうらみをかうことになった。とくに弾圧がきびしかった水戸藩（茨城県）では、直弼暗殺が計画された。

●雪の日の大事件・直弼が暗殺される

一八六〇年三月三日――、この日は朝早くから雪がふっていた。江戸城に登城しようとする直弼の行列に、水戸藩の浪士を中心とする一団がおそいかかった。

戦いははげしく、ともに多数の死傷者が出た。井伊大老の首も、つじ番所のわきにころがっていたという。これが「桜田門外の変」である。

▲桜田門の外で、浪士たちにおそわれる井伊直弼。直弼はかごの中にいる

（長府博物館）

▲攘夷を実行した長州藩（山口県）に、外国の連合軍が報復攻げきをした（1864年）

Q 「尊王」とか「攘夷」とはどんな意味かな？

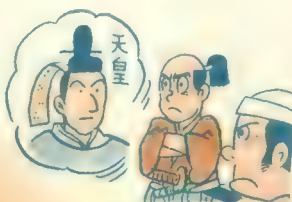
A

●**尊王とは……**

皇室、天皇をとうとぶ、という考え方だ。

初めのころは、幕府政治を批判するものではなかったが、時代が進むにつれて幕府政治を批判するようになっていった。

●**攘夷とは……**

「野蛮人を打ちはらう」という考え方だ。長い間の鎖国で世界の様子をほとんど知らない日本人は、外国人はみな野蛮人だと思ってさげすんでいたからである。人々の多くは、攘夷論にかたむいていた。

幕末に、京都でおそれられた「新撰組」とはどんなものかな？

●尊王の志士や浪士をとりしまる

一八六二年ころ、京都で気勢をあげている尊王攘夷運動の志士や浪士たちを、なんとかおさえようと考えた幕府は、江戸でうでききの浪人をぼ集して浪士組を作って、京都に送った。

●池田屋切りこみで名をあげる

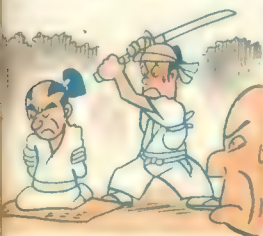
初め、新徴組といっていたが、のちに近藤勇を局長として新撰組と名のり、京都守護職の下で、京都の見回り役についた。新撰組の名を高くしたのは、池田屋切りこみ事件。このとき、多くの尊王派の志士たちが切られた。

こうして、新撰組は力で幕府に反対する人たちをふるえあがらせながら、約四

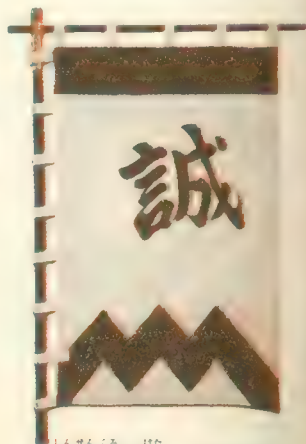
Q

吉田松陰の「松下村塾」って、どんな塾だったの？

A

●西洋に目を向けた吉田松陰

松陰は儒学と洋学を学び、西洋諸国のアジア進出に対こうするためには、幕府の政治を改革しなければならないと考えていた。

そのようなとき、松陰は、やってきたペリーの軍艦に乗って西洋に密航しようとしたが失敗、故郷の萩（山口県）の牢に入れられた

▲新撰組局長の近藤勇　今の東京都の出身で、天然理心流の達人。1868年、とらえられ、処刑された。

▲新撰組の旗。市中見回りのときにかかげて歩いた。

●多くの人材を育てた松下村塾

その後許されると、萩の自宅に松下村塾という塾を開いた。ここでは、武士だけでなく、農民の子どもも受け入れて、若者たちに新しい世の中のあるべき姿を教えさとした。

ここで学んだ人々には、幕末に活やくした高杉晋作や久坂玄瑞、幕末から明治にかけて活やくした木戸孝允、伊藤博文、山県有朋、山田顕義などがいる。

(山口県文書館)

▲松下村塾をつくり、多くの尊王の志士を育てた吉田松陰

▲山口県萩市にある松下村塾　この部屋で松陰が講義を行った

▲江戸の打ちこわし。物価上しょうにがまんできない町民たちが起こした。

Q 江戸時代末期に起きた「打ちこわし」とは何？

A ●米屋・金持ちをおそい米などをうばう

一八六六年、江戸幕府の長州せいばつのうわさがたち、米の値段が三倍以上に上がった。米を買えなくなった町民たちは、米屋や金持ちをおそい、家や倉庫をこわし、米などをうばった。これを「打ちこわし」という。

都市の貧民が物価の引き下げや米の安売りを求めて起こす打ちこわしと百姓一揆は、もともとは別のものであったが、幕末になるとこの二つがからみあってくる。

武蔵（東京都・埼玉県・神奈川県）の武州一揆では、大工の打ちこわしが原因となって、近くの百姓一揆を引き起こし、また、逆に、大阪の打ちこわしのもとになったのは、近くの百姓一揆であった

●新しい民衆のめざめ

このころのものは、それまでの一揆や打ちこわしとちがって「世なおし」とか「世ならし」などのことばがつけられているところに、新しい民衆のめざめが感じられる。

しかし、日本の市民階級の力は弱く、この民衆のはく発力をうまく利用したのが、長州や薩摩の下級武士の倒幕運動家たちであった

Q 薩長同盟を成立させた人々とは、どんな人たちかな？

A

●幕府をたおすためには…

第二回長州せいはつが始まろうとするころ、今の幕府をたおして新しい世の中にするためには、薩摩藩（鹿児島県）と長州藩（山口県）が手をにぎることが最も大切である、と考えていた人がいた

▲京都の円山公園にある坂本龍馬（左）と中岡慎太郎の像。1867年11月15日、京都河原町の近江屋で二人とも暗殺された

●坂本龍馬・中岡慎太郎らの努力で

それが、もと土佐(高知県)藩士だった坂本龍馬と中岡慎太郎である。龍馬は、両藩をねばり強く説得し、一八六六年一月、京都の薩摩藩邸で、両藩の盟約を結ばせるのに成功。

このとき、薩摩からは家老の小松帯刀と西郷隆盛、長州からは木戸孝允が出て、龍馬が立ち会い人になった。

幕末に広まった「ええじゃないか」とは何かな?

A

●空からおふだがふってきて始まったおどり!

一八六七年の秋、名古屋地方に伊勢神宮のおふだが空からまいおりてきて、それをきっかけに、「何かめでたいことが起こる前ぶれだ、それ祝え」ということで、「ええじゃないか」のおどりが始まった。

このおどりは、あっという間に、東は江戸、北は長野、

▲天からふってきたふだを集める人々　これから「ええじゃないか」が始まった。

西は尾道、南は徳島あたりまで広がっていった

●仕事を投げ出して、おどりくるった！

人々は仕事を投げ出して、たいこ、ふえ、三味線などならし、おかしなかっこうをして、金持ちの家におどりこみ、酒、さかなをせびり「これを飲んでもええじゃないか、これをくれてもええじゃないか」と、さかんにおどりくるったといわれる。

Q 「大政奉還」とは、どういう意味かな？

A ●朝廷に政権を返上した江戸幕府

一八六七年十月、前の土佐（高知県）藩主山内豊信は、江戸幕府将軍徳川慶喜に「大政奉還」をすすめる建白書を届けた。慶喜はこの意見を入れて、十月十四日、朝廷に「大政奉還」を申し出た

もともと、征夷大将軍というのは朝廷から政治をたのまれているというかたちなので、それを朝廷に返すということだ。

●大名会議の代案

慶喜はそのとき、朝廷にこれからどうするかという意見も書き加えた。それは、将軍が政権を朝廷に返上して、大名の列にくだり、あらたに議事院をつくり、大名会議で政治をすすめるという案であった。

▲山内豊信(容堂)

▲徳川慶喜

朝廷は慶喜の願いを認め、江戸幕府はついにほろんだ。しかし、この裏で、倒幕派は、あくまで武力倒幕の計画を進めていった。

▶一八六七年十月、徳川慶喜は、京都にいる家来を二条城二の丸の大広間に集め、大政奉還の決意をつげた

江戸城の無血開城に努力したのはどんな人たちかな？

●勝海舟が江戸決戦を思いとどまるよう進言

一八六八年三月十三日、破竹の勢いで進軍してきた新政府軍は、江戸の近くにせまった

江戸では、海軍の榎本武揚や陸軍の大鳥圭介など、江戸が焼け野原となっても戦おうとする空気が強かった

しかし、陸軍総裁の勝海舟は陸戦では勝つ見こみがないことなどから、徳川慶喜に決戦をさけるよう進言した

●西郷隆盛が勝と会談

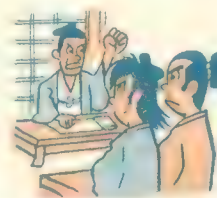
一方、勝は薩摩藩の西郷隆盛と会談し、慶喜謝罪と江戸城明けわたしをまとめた。十五日にせまった江戸城総攻けきの、わずか一日前のことだった。このおかげで、江戸の町は戦火をあびずにすんだのである

◀勝海舟（右）と西郷隆盛（左）は、江戸の薩摩藩邸で会談した　そして、四月十一日、新政府軍は江戸城に無事に入城した

江戸幕府の終わり　年表とまとめ

時代	江戸時代			
世紀	19世紀			
西暦	一八五三	一八五四	一八五八	一八五九
おもなできごと	（このころききんが続き、一揆や打ちこわしが多くなる。） ●ペリーが四せきの軍艦を率いて浦賀（神奈川県）にやって来る	●再びペリーが七せきの軍艦を率いてやって来て、日米和親条約を結ぶ（日本の開国）	●井伊直弼が大老になり、各国と修好通商条約を結ぶ。	●安政の大獄（五八〜）で、吉田松陰や橋本左内らが死刑になる。

【㈠激動の幕末】

①黒船来航　一八五三年、ペリーは四せきの軍艦を率いて、日本に開国を求めてやって来た。幕府は翌年、二港を開いた。

②吉田松陰　松陰は、「幕府を倒し朝廷中心の国づくり」の大切さを人々に説いた。松陰が教えた弟子の中からは、伊藤博文などが出た。

③安政の大獄　井伊直弼は、反対派をおさえて、開国にふみきった。そして、反対する者をとらえてきびしくばっした。

時代	江戸時代
世紀	19世紀

西暦	おもなできごと
一八六〇	●桜田門外の変が起こり、井伊直弼が殺される。
一八六二	●生麦事件が起こる。
一八六三	●薩英戦争が起こる
一八六四	●禁門の変が起こる。 ●第一次長州せいばつが行われる。 ●イギリス・フランス・アメリカ・オランダの四か国の艦隊が下関を砲撃する。
一八六六	●坂本龍馬、中岡慎太郎らの努力によって、薩長同盟が結ばれる
一八六七	●徳川慶喜が政権を朝廷に返し(大政奉還)、江戸幕府がほろびる ●王政復古の大号令が出される。

【(二)江戸幕府ほろびる】

①**桜田門外の変**　一八六〇年三月三日、井伊直弼は、桜田門の近くで水戸の浪士らに殺された。直弼の政治も、わずか二年で終わりを告げた。

②**薩長同盟**　坂本龍馬らは、西郷隆盛や木戸孝允らに、薩摩藩と長州藩が手を結んで倒幕するよう説いた。そして、一八六六年に薩長同盟が成立。

③**大政奉還**　幕府政治に対する不満は、日ごと強くなった。徳川慶喜は、これ以上幕府政治を続けることは無理と判断、一八六七年に大政奉還した。

←新しい考え方を広めた福沢諭吉

第二部
明治の世の中

日本は西洋の新しい文化や制度などを取り入れ、国の力を高めて、進んでいる西洋諸国に追いつこうとした。

→明治時代の政治をリードし続けた伊藤博文

人物まんが

伊藤博文を読む前に

一八六三年、伊藤博文は留学生としてイギリスにわたった。かれはそこで何を学び、当時の日本には何が必要だと考えたのだろうか。

近代日本の基礎を作り上げたかれの活躍ぶりを見てみよう。

貧しい農民の子から総理大臣になった人を知ってるかい。
ウーン!
知らないの!!

じゃ明治の憲法をつくったえらい人を知ってるか。
やーい知らないんだ。

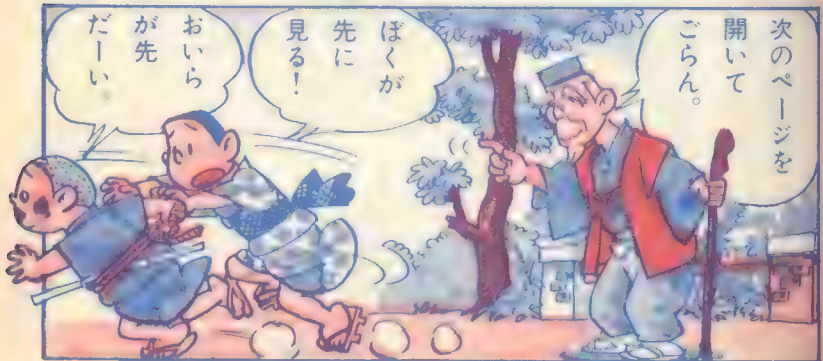
こっちは、苦学して勉強したんだぞ。
外国へ何度も勉強に出かけてるんだぞ。
こっちは、自分の力をみんなのために使った人なんだぞ。
どっちがえらいか。

それは、どうやら引き分けらしいぞ。
ええっ！
引き分けなんてあるかい。

次のページを開いてごらん。
ぼくが先に見る！
おいらが先だーい。

人物まんが

初代内閣総理大臣 伊藤博文

絵・[illegible]

イギリスにわたった伊藤博文は、そこで見た先進国の姿に大きなショックを受け、日本を文化国家にすることへ情熱をか

一　イギリスを見てきた青びょうたん

ねえ、お地蔵さんどうしたらいいの。
おしょうさんか、ああおどろいた
このひょうたんも、もとをただせば、青びょうたんじゃ。
みがいてみがいてみごとに光る赤びょうたんになったのじゃ。
わかるかな
あっそうか。
利助はやさしくてりこうな子じゃ。いまに立派な赤びょうたんになるじゃろう。
ひょうたんひょうたん青びょうたんいまにみがいて赤びょうたん!

十一才になった利助は、藩の武士の家へ奉公することになり、今日もお供で荷物持ち、

待っていなさい。
はい。

待っている間は砂の上に字を書いてお習字。

そこへも書いたのか。
あきれるほど勉強の好きなやつだ。
あの子が書いたそうですよ、
なんとなんと!

へえっ。
なんとうまいもんじゃのう……。
もったいない。消さんでよろしい

翌年、ペリーの艦隊が江戸湾にまで入ってきた。そして武力による圧力で、下田・函館の二港を開くことなども認める、日米和親条約（神奈川条約）が結ばれた

*四書五経…中国の儒教の書物

吉田松陰の教える松下村塾へ入った利助は、そこで日本の将来を考えて熱心に勉強する人たちに出会った。

すごい熱気だ。

その中には高杉晋作、久坂玄瑞、品川弥二郎、前原一誠など明治維新の原動力になった人たちがいたのである。

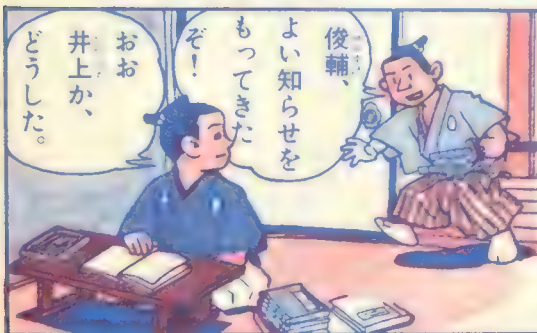
一方、日本総領事として下田へ上陸したハリスは、通商条約を結ぼうと強引に幕府にせまった。

ハリスの勢いにまけた幕府は、朝廷の許しを受けないまま、一八五八年日本に不利な*日米修好通商条約を結んでしまった。

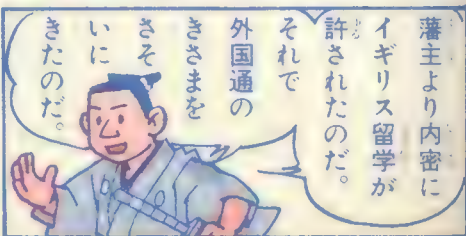
吉田松陰は幕府の弱ごし外交を非難し、強く尊王攘夷を主張した。

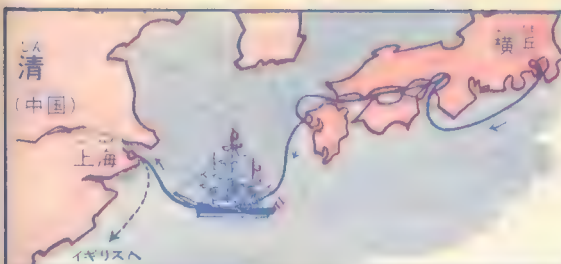
だが、幕府の井伊大老のやり方に不満を持つ者がとらえられた安政の大獄で、松陰もとらえられ処刑された。

先生の遺志をついで、きっと日本を守ってみせます。

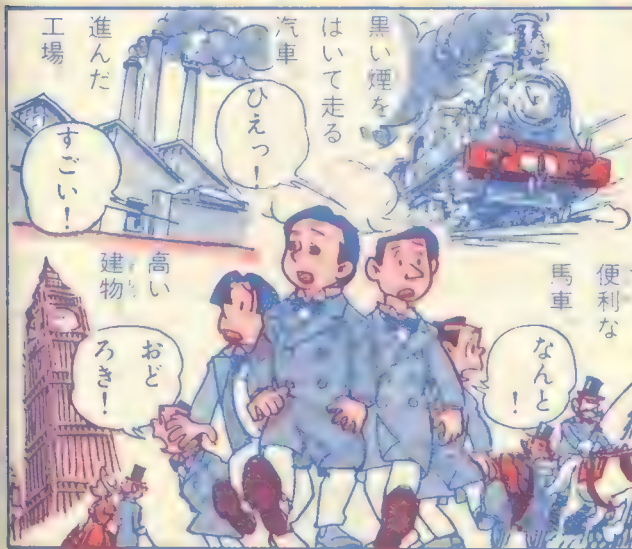
*日米修好通商条約……罪を犯した外国人を裁く権利・関税を自主的に決める権利のない不平等条約だった

一八六三年、*士分に昇格した俊輔が桂の命令で江戸にいるところへ、井上聞多が思いがけない知らせをもってきた

俊輔、よい知らせをもってきたぞ！

おお井上か、どうした。

藩主より内密にイギリス留学が許されたのだ。

それで外国通のきさまをさそいにきたのだ。

ほんとうか よしっ、いこう！

*士分…武士の身分

やがてイギリスの土をふんだ五人には、見るもの聞くものすべてがおどろきだった

町を走る便利な馬車

黒い煙をはいて走る汽車

進んだ工場

高い建物

なんと!

ひえっ!

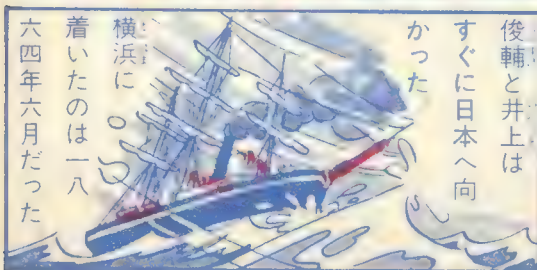
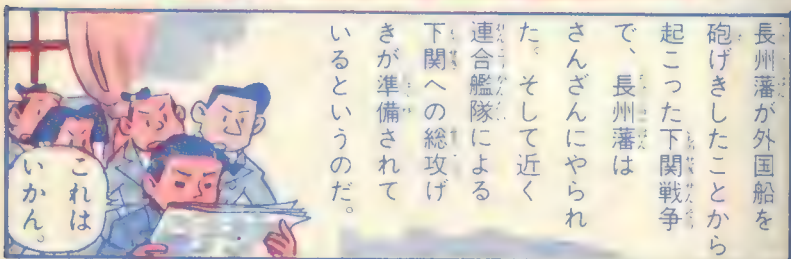
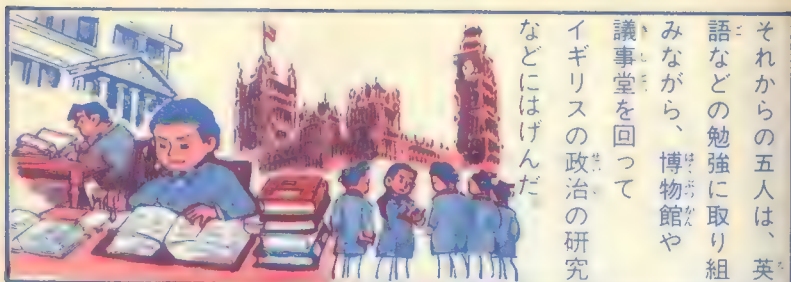
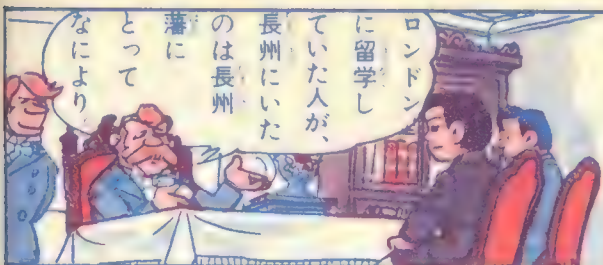
すごい!

おどろき!

それからの五人は、英語などの勉強に取り組みながら、博物館や議事堂を回ってイギリスの政治の研究などにはげんだ。

冬が過ぎ、春のある日、ロンドンの下宿で思いがけないニュースを新聞で知った。
どうかしましたか。

長州藩が外国船を砲げきしたことから起こった下関戦争で、長州藩はさんざんにやられた。そして近く連合艦隊による下関への総攻げきが準備されているというのだ。
これはいかん。

こうしてはおられん。おれは日本へ帰る。

俊輔と井上はすぐに日本へ向かった
横浜に着いたのは一八六四年六月だった

連合艦隊による総攻げきを延ばしてもらうようたのんだ二人は、藩主毛利敬親の御前で西洋の事情を説いた、

ヨーロッパの国々の文化は、わたしどもの想像以上です。

また今回下関を攻げきしようとする連合艦隊の力はおそるべきものです。

外国がそのように進歩していたのでは…。

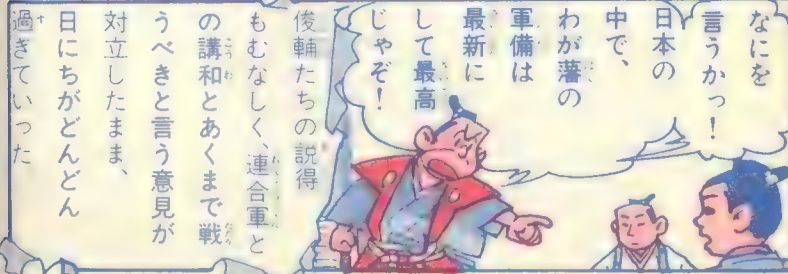
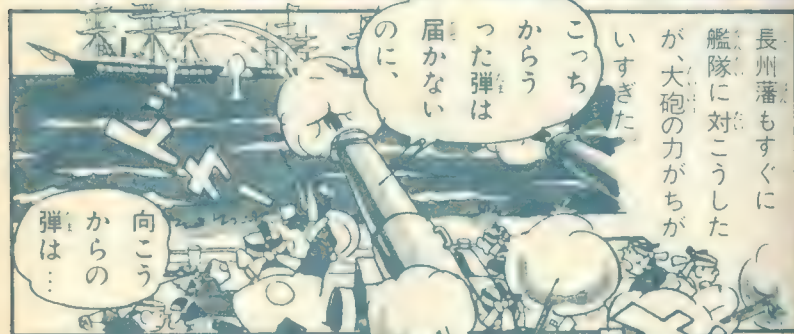
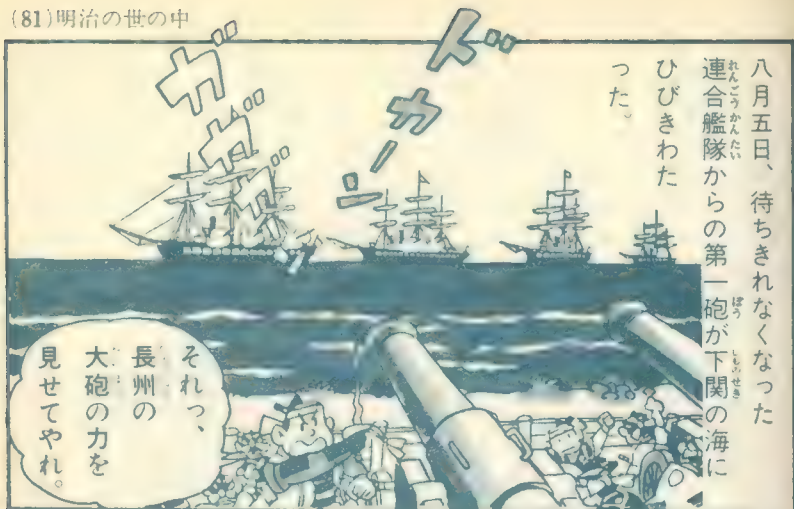
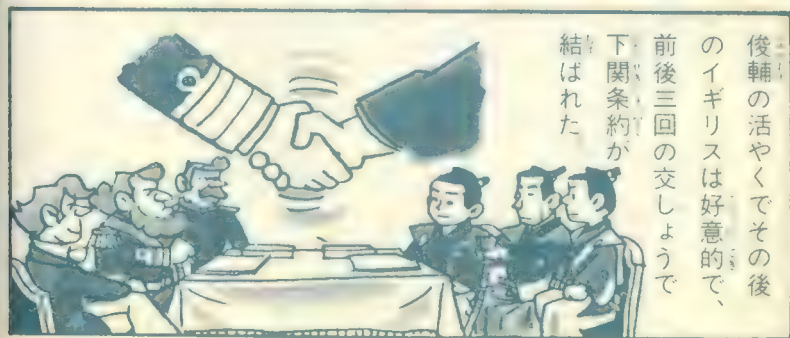
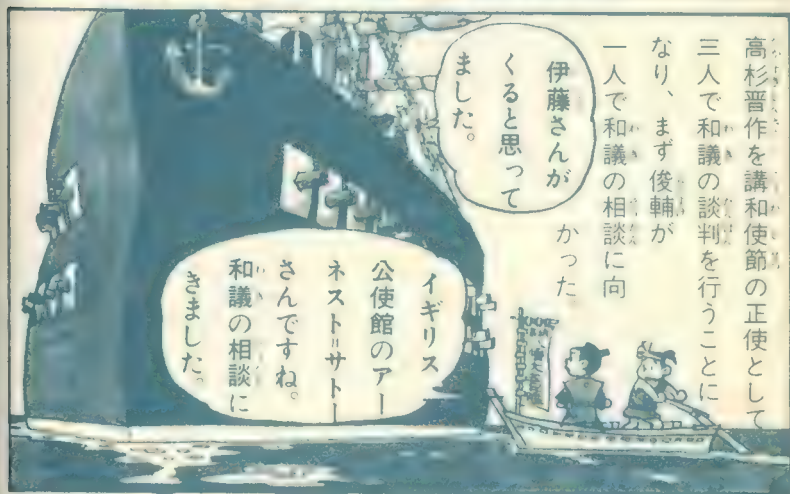
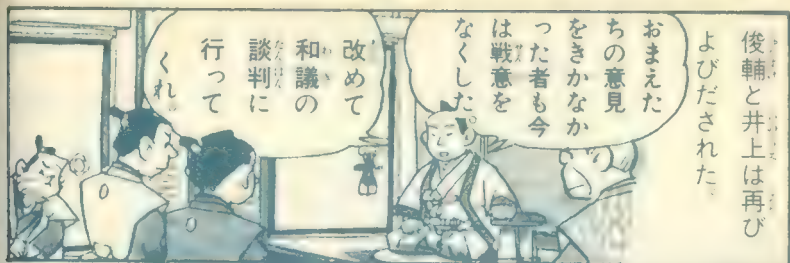
なにを言うかっ！日本の中で、わが藩の軍備は最新にして最高じゃぞ！

俊輔たちの説得もむなしく、連合軍との講和とあくまで戦うべきと言う意見が対立したまま、日にちがどんどん過ぎていった

八月五日、待ちきれなくなった連合艦隊からの第一砲が下関の海にひびきわたった。
ガガ
ドカーン
それっ、長州の大砲の力を見せてやれ。
ドボッ
ドポ
長州藩もすぐに艦隊に対こうしたが、大砲の力がちがいすぎた。
こっちからうった弾は届かないのに、
向こうからの弾は…
届いた!

高杉晋作を講和使節の正使として三人で和議の談判を行うことになり、まず俊輔が一人で和議の相談に向かった。

伊藤さんがくると思ってました。

イギリス公使館のアーネスト＝サトーさんですね。和議の相談にきました。

二 日本最初の外交官となる

＊居留地…外国人か住むことを許された土地

ハワユーサトー。
わたしはもうあなたたちを信用しませんねっ。

あなたがたの仲間が、居留地で発砲しました。開国は見せかけですね。

それに一か月も前に朝廷に政権が返ったのに、公使館へなんの通知もないのはどうした事ですか。

なるほど。三日待ってください。納得のいく解決をつけましょう。

とは言ったがさてどうするかだ。
東久世さんが、外国事務係として大阪にいるはずだ。
…というわけで相談にきました。
それは困ったことになった。

この事件を解決に行く者はおらんか。
イギリス人が苦手で…。
ぼくは英語が…。

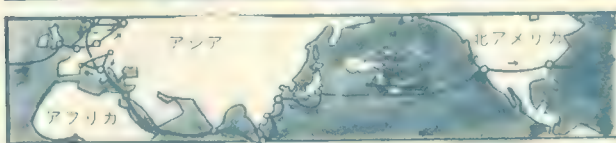
しばらく待っていてくれたまえ。

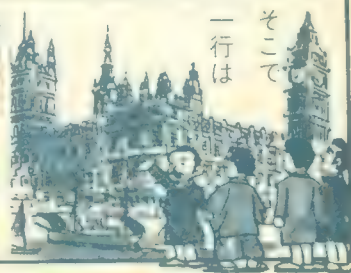
辞令
伊藤俊輔
貴殿ヲ外国
事務係ニ
任ズ
明治元年一月十二日
明治政府
仁和寺総督
行ってくれる人がいましたか。
良い人物がおりましたぞ
ぜひ日本最初の外交官として、この事件の解決に働いてもらいたい。
はあ……!
こうして俊輔は思いがけなく明治政府の最初の外交官となった
新公使パークスのおどかしにも負けず事件をうまく処理した俊輔は、その後次第に政府の重要な役につくようになった。
一八六九年都は東京に移った。俊輔は大蔵少輔になり名も博文とあらためた。
大蔵少輔
(大臣の次の位)
兵庫県令
(県知事)

一八七一年博文は岩倉具視を全権大使とする使節団の副使となって、木戸孝允、大久保利通らとともに欧米に向かって出発した。

目的は明治維新のまえに幕府がとりきめた不平等な条約の改正だった。

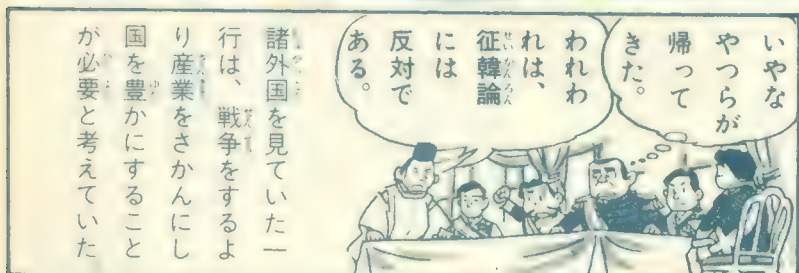
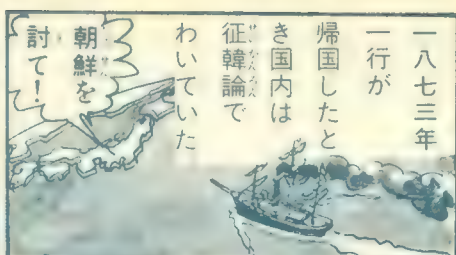
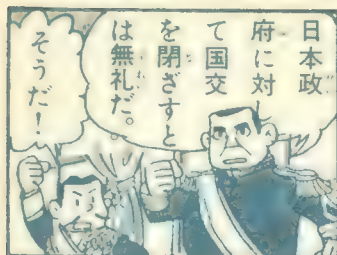
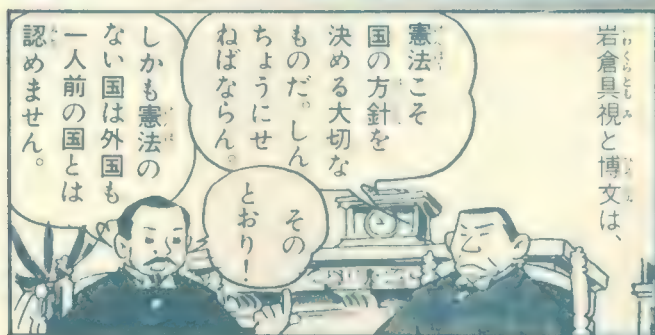
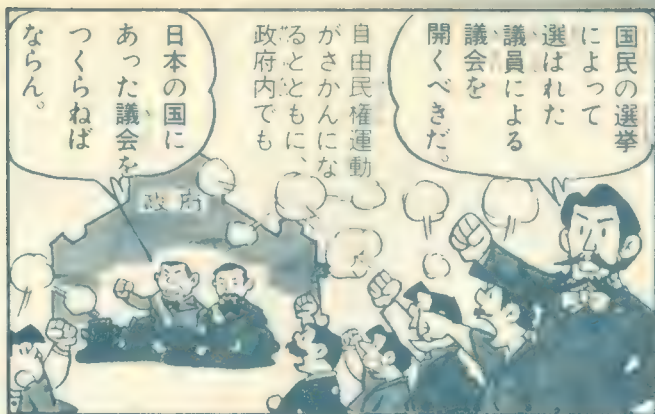
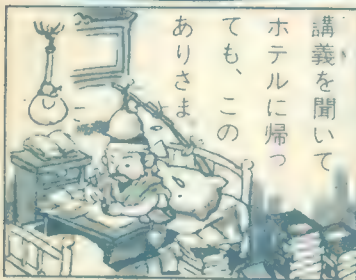
使節団の通った航路

アジア
北アメリカ
アフリカ

アメリカに着いた一行は大いに歓げいされたが、

条約改正の話になると、明治政府は実力不足だからと受けつけてくれなかった。

いやなやつらが帰ってきた。

われわれは、征韓論には反対である。

諸外国を見ていた一行は、戦争をするより産業をさかんにし国を豊かにすることが必要と考えていた

一八八一年詔勅が発せられた。「一八九〇年に国会を開く」。

憲法をつくるためには、まず先進諸外国の憲法を研究しようということになり、伊藤博文は……
一八八二年ヨーロッパへ憲法を調べに行った
まず日本の国情ににているドイツに行き、
ドイツの憲法は……
つぎにオーストリアのウィーン大学でシュタイン教授から学んだ
講義を聞いてホテルに帰っても、このありさま
一日十時間のもう勉強でがんばりぬいた
フー
その結果、博文は……
天皇のもとで国民が政治に参加する憲法こそ、今の日本にとっては最良だ

四 日本を文化国家に!!

そして、いよいよ憲法をまとめることになった。

憲法

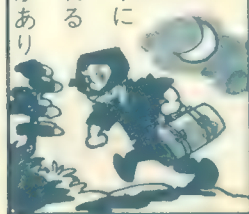
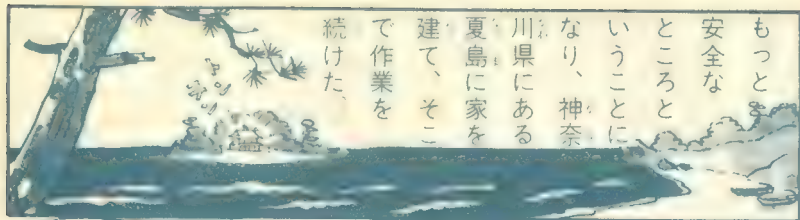
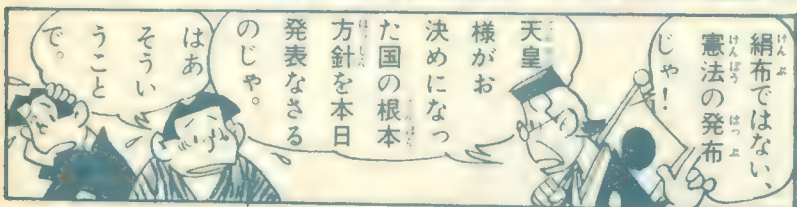
もっと安全なところということになり、神奈川県にある夏島に家を建て、そこで作業を続けた。
机に向かって書きものをしないときも四人は議論に熱中した。
ああでもない!
こうでもない!
食事をしながら、議論を始めると、それが夜中の十二時まで続くといったぐあいだった
ああだこうだ!
こうだああだ!
一八八八年ついに大日本帝国憲法の草案ができあがった。
長い間ごくろうでした
大日本帝国憲法草案

次にその草案を枢密院で審議することになり、博文は首相を黒田清隆にゆずり、初代の枢密院の議長になった。

天皇をおむかえして憲法草案の審議をします。

博文は後に初代の貴族院議長、韓国の初代統監などを勤め初代の好きな博文といわれたよ。

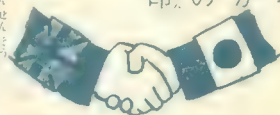
天皇

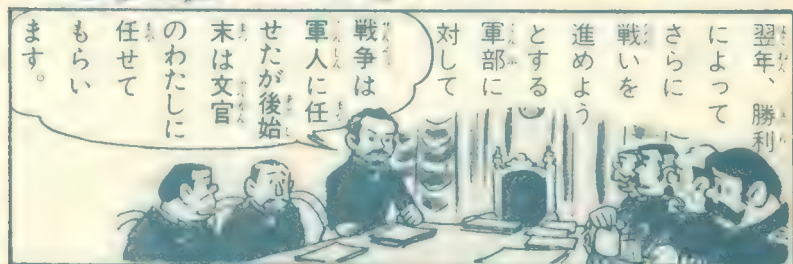
枢密院

こうして、一八八九年二月十一日大日本帝国憲法が発布された。

一八九〇年
第一回衆議院議員
選挙が行われた。

博文は
貴族院議長となる

一八九四年、
イギリスが
日英条約の
改正に調印

同じ年日清戦争が
始まった

翌年、勝利
によって
さらに
戦いを
進めよう
とする
軍部に
対して

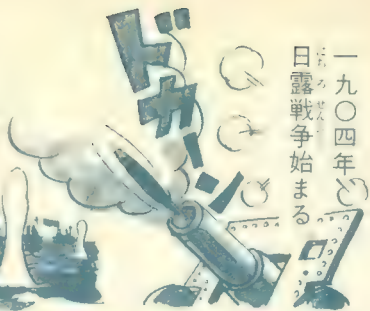
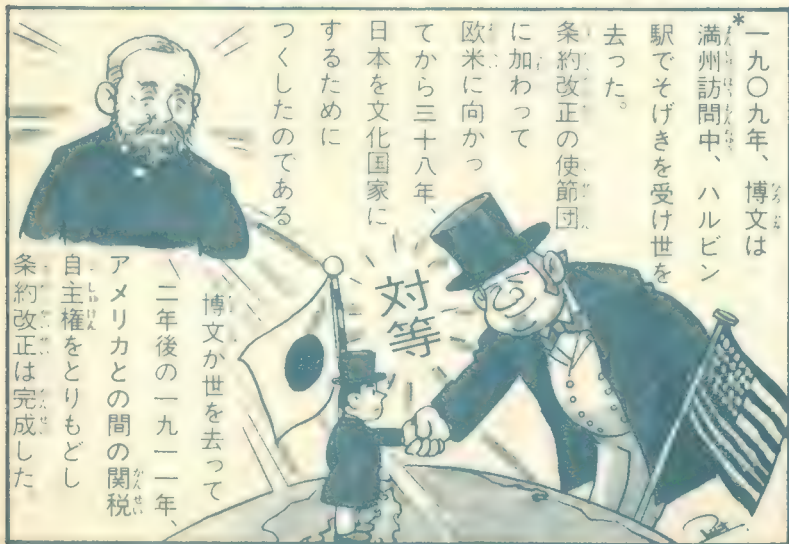
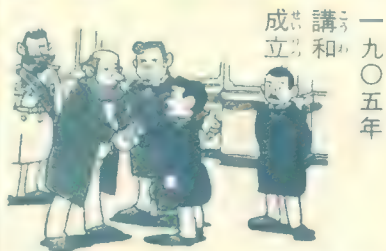
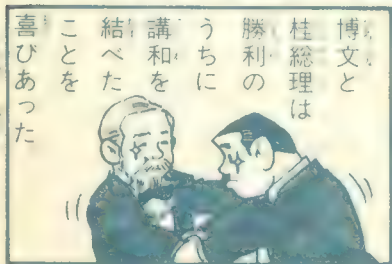
戦争は軍人に任せたが後始末は文官のわたしに任せてもらいます。

清国との講和会議
は下関で行われ、
博文は日本の代表
として講和を結
んだ。

博文と桂総理は勝利のうちに講和を結べたことを喜びあった

*満州…中国の東北部。

*一九〇九年、博文は満州訪問中、ハルビン駅でそげきを受け世を去った。条約改正の使節団に加わって欧米に向かってから三十八年、日本を文化国家にするためにつくしたのである

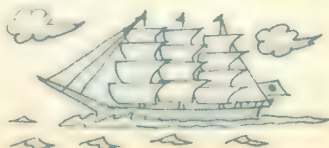
対等

博文か世を去って二年後の一九一一年、アメリカとの間の関税自主権をとりもどし条約改正は完成した

人物まんが伊藤博文のまとめ

一　一八四一年、伊藤博文は山口県に生まれた。家が貧しかったので、子どもたちにからかわれたりして悲しい思いを味わった。しかし博文はかしこい子どもだった。

二　やがて長州藩（山口県）に仕える武士の家へ奉公することになった。江戸幕府がアメリカと日米和親条約を結ぶと、警備のため神奈川県へ出かけた。ここで来原良蔵の部下となり、よく働いた。来原も博文にしっかりと勉強を教えこんで、後に吉田松陰を紹介した。

三　松下村塾で学んだ後桂小五郎などと共に、幕末の江戸・萩などを動き回るようになった。長州藩の武士として取り立てられると、イギリスへの留学を命ぜられ、井上聞多ら五人と共にイギリスへわたった。

四　イギリスで見聞したことは、博文たちにとってはすべてがおどろきだった。そのころ長州藩では外国船を砲げきして、その仕返しを受けた。そこで長州藩では、イギリスなど四か国連合艦隊と戦争を始めた。

五

当然のように長州藩は負け、講和を結ぶために博文は活やくした。

明治維新後、博文は日本最初の外交官として、イギリスとの問題解決に成功し、やがて兵庫県の県令、大蔵少輔と立身出世をしていった。

六

明治政府の欧米使節団の一員として、博文は欧米にわたった。

博文は、早く日本を外国と対等の国にしなければならないと痛感し、帰国した。

明治政府は、征韓論を中心に大きくゆれ動き、そんな中で博文は次第に政府の中心人物となり、事実上の首相となった。

七

博文は自由民権運動がさかんになってくると、憲法をつくらねばならないと思い、憲法を学ぶために先進諸国に出かけた。

八

一八八五年に内閣制度ができると、博文は初代の内閣総理大臣となった。

いろいろな苦労の末、博文は憲法の草案をまとめることができた。

九

一八八九年、大日本帝国憲法が発布された。

その後博文は、貴族院議長など、重要な地位を経験していったが、一九〇九年に暗殺された。

人物まんが

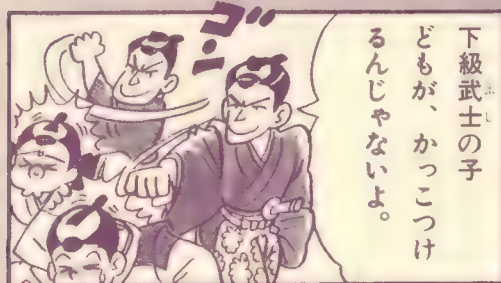
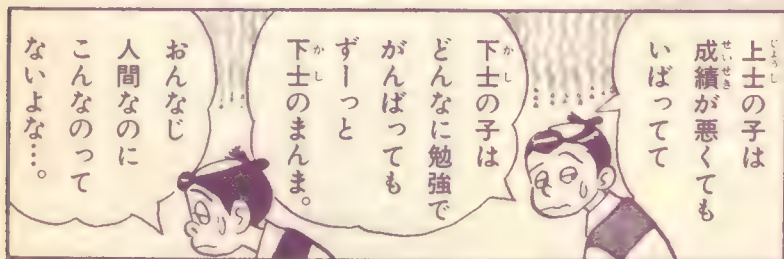
福沢諭吉を読む前に

江戸時代の末、それまでの制度に疑問や不満を持つ若者が増えていた。そんな一人であった諭吉が、何を学び、どんな考えを持つようになったのだろうか。時代は明治へと大きく変わっていった。

これぐらい
自分で
持て!!

上級武士の子にさからったな。おぼえてろ父上に言いつけてやる。

上士の子は成績が悪くてもいばってて
下士の子はどんなに勉強でがんばってもずーっと下士のまんま。
おんなじ人間なのにこんなのってないよな…。

福沢諭吉も子どものころからおなじ不満を持っていたんだって。だからそれまでの制度をなくして自由平等の世の中になることを夢みていたのよ。
よーし、次のページからの、物語を見てみよう。

人物まんが

新しい文化と学問 福沢諭吉

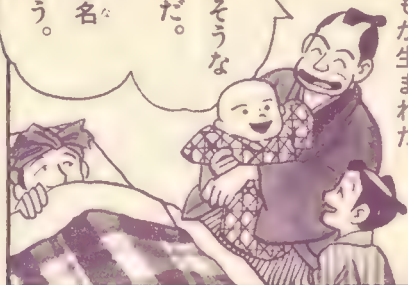
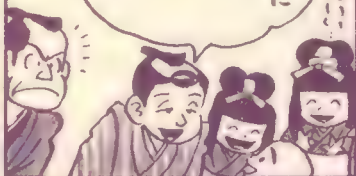
アメリカの近代文明にいち早くふれた福沢諭吉は、人間の自由平等を書物などで、広く人々に説いた。

絵・人見倫平

そして、教育者として
新しい時代の若者を
導いていった。

▶福沢諭吉著「学問のすゝ（す）め」

一 負けずぎらいの諭吉

一八三五年、中津藩（大分県）の大阪の*蔵やしきにつとめる、下級武士福沢百助に五番目の子どもが生まれた。
かしこそうな男の子だ。諭吉と名付けよう。

ぼく、諭吉に塾で習っている九九を教えてあげよう。
かわいい…
九九だと……
そんなもの武士の子が習う必要はない。あれは商人のもんだ!!

お父上はいつも藩のお仕事で、お金の計算ばかりやらされているから、九九はきらいなのです。気持ちをわかってあげてね。
酒

＊蔵やしき…藩の米や特産物を売る販売所と

たんすのかぎを
なくして
引きだしが
あけられないの。
ぼくが
やってみます。

やったー!
おれくぎで
あきました。
諭吉すごい。
あんた
どろぼうに
なれるわよ。

諭吉は手先が器用で、
屋根の雨もりを直したり
障子をはりかえたりして
近所の手伝いをした。

ごくろうさん、
これは
おだちんだ。

諭吉、家の手伝いも
いいけど、もっと
外で遊びなさい。
いやや。
上士の子は
ぼくのこと
ばかにする
んやもん。
おい、ちゃんと
あいさつしろ!

足軽の子なんてもっとひどいんや。雨がふっていてもぞうりをぬいで土下座させられるんや。同じ人間やのに……。

近所の子かて大阪べんがおかしいといってばかにするし……。

ぼくは、母上のそばにいてお話を聞いている方がいいんや。

変わった子だね。

諭吉が十二才の時、兄の三之助は下級藩士としてお城づとめをしていた。

兄上、およびですか?

ば、ばかもん、おとの様の名前をかいた紙をふんでいる。ばちが当たるぞー!!

おとの様、お許しください。
あんな紙きれふんだぐらいでばちが当たるわけないのに。

ところで諭吉、お前も武士の子だ。塾へ行って漢学を勉強しなきゃいかんぞ…。

兄上、ぼくは上士の子や近所の子がいる塾なんて行きたくありません。

何いっとる。あれを見てみろ！
シ…ノタマワク……

あんな小さい子が、むずかしい本を読んでいる…。

本を読まないのはぼくだけか…。
はずかしい…。

兄上、ぼく塾で勉強します!!

諭吉は、負けずぎらいの性格と、もともと素質があったのだろう、たちまち友だちに追いついた。
お前、勉強ができるからって調子にのるなよ。
わしらは上士…。そこんとこ忘れるな…。
べ〜〜
何かいったか?
いいえ…。
どんどん成績が上がっているそうだな。
はい、上士のやつらにも勉強では負けぬようになりました。
もっと勉強して上士のやつらを見かえしてやります。
しかし…学問ができても中津藩は身分の区別がうるさいからな…。

二 長崎でオランダ語を学ぶ

お前、長崎へ行ってオランダ語を勉強する気はないか…。
中津を出られるなら、どこでも行きますよ。

ちょうどいい。わたしは藩の用事で長崎へ行くが、お前をつれていってやろう。
ヤッたー

着いたぞ。きょうからお前はこの寺で生活するのだ。
光永寺

家老の子、奥平壱岐様もすでにこの寺にきて、蘭語を勉強しておられる。
こんな所でも上士といっしょなのか…。

おい福沢、酒買ってこい。
それからかたをもめ。それから…。
つまらん用事ばかりいいつける。これじゃ蘭語の勉強ができん。

山本先生、なんでもやります。弟子にしてください。
いいだろう。

山本物次郎の内弟子となった諭吉は、こまねずみのようによく働いた。

そして用事がすむと、一心に勉強に取り組んだ。

諭吉のやつ、あっという間に、わしを追いこしやがった。
これではわしの立場がない。よーし。

長崎へ来て一年あまりたったある日のこと。
くにから手紙だ。
二通もですか。

中津で医者をしているいとこからだ…。

お前の母親が病気になられた。兄の三之助は大阪へ転任しているし、三人の姉たちは、嫁にいっている。お前にすぐ帰ってもらいたい。
は…母上が…。

おや、もう一通も医者のいとこからだ?

じつは母上が病気というのはうそだ。お前の勉強ぶりをねたんだ壱岐のたくらみだ。
ひ…ひきょうな壱岐め!!

しかし家老を向こうにまわしてけんかすれば、兄や母にまでめいわくがかかる…。ここは壱岐のたくらみ通り、長崎を去ってやる。
でも、こんなたくらみが許される武士の制度を改めなければだめだ。

三 これからの国際語は英語だ!

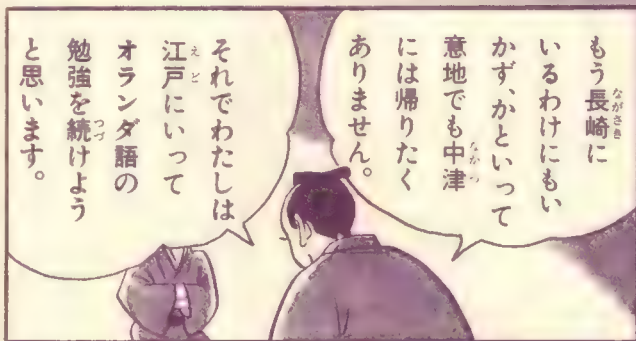
諭吉は中津へ帰るふりをして大阪の兄の所へ向かった。

兄上、おひさしぶりです。

ゆ…諭吉、いったいどうしたのだ!?

実はかくかくしかじか…。

もう長崎にいるわけにもいかず、かといって意地でも中津には帰りたくありません。

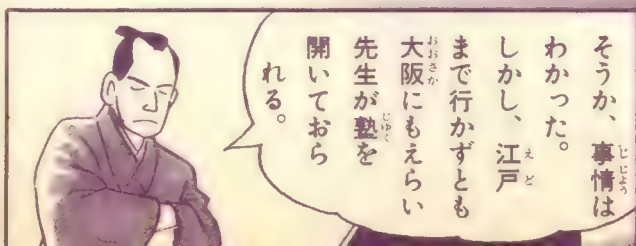
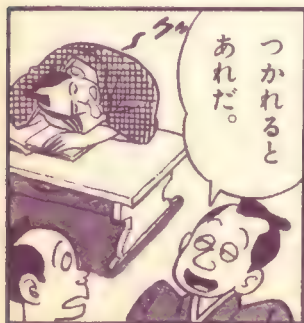
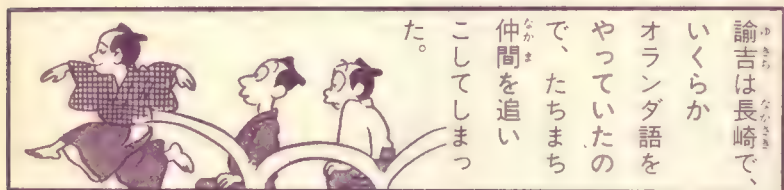
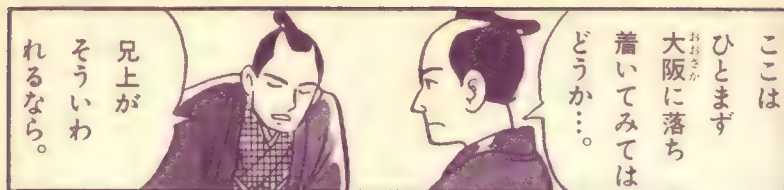
それでわたしは江戸にいってオランダ語の勉強を続けようと思います。

そうか、事情はわかった。しかし、江戸まで行かずとも大阪にもえらい先生が塾を開いておられる。

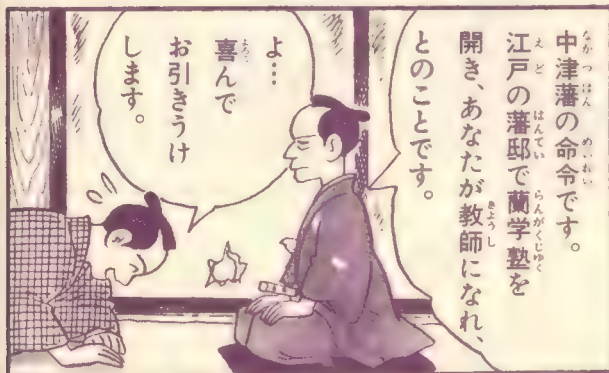
ここはひとまず大阪に落ち着いてみてはどうか…。
兄上がそういわれるなら。

諭吉は緒方洪庵の適塾に、弟子となって住みこんだ。
この適塾には、日本の各地から蘭学を勉強するために多くの若者が集まっていたが、

諭吉は長崎で、いくらかオランダ語をやっていたので、たちまち仲間を追いこしてしまった。

しかし福沢はよくやるな…。
あいつがふとんでねたのを見たことがない。
何でも、まくらを持っていないそうだ…。

つかれるとあれだ。

諭吉は毎日が楽しくてしかたがなかった。
塾では上士も下士もない…。それにみんないいやつばかりだ。
一八五七年論吉は二十三才で適塾の塾長になった。

諭吉が蘭学の修業を志して五年、ついにそれを生かす時がやってきた。
中津藩の命令です。江戸の藩邸で蘭学塾を開き、あなたが教師になれ、とのことです。
よ…喜んでお引きうけします。

諭吉は江戸・築地の中津藩のしき地の中に、蘭学塾を開いた。
よいか、オランダ語の「いろは」はアーベー…

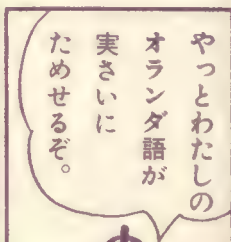
そのころ日本は、アメリカと日米修好通商条約を結んで横浜に港を開いていた。
先生、横浜の町は外国人の姿がたくさん見られるそうです。
そうか、それはぜひ行ってみよう。

やっとわたしのオランダ語が実さいにためせるぞ。

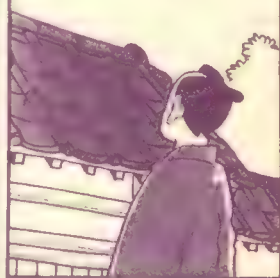
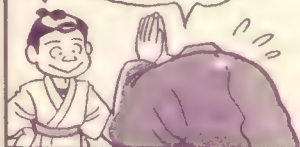
あれ？何だ、あの文字は。さっぱり読めん。
BARBE

話もぜんぜん通じない。
？

えっ…これは英語だって⁉
オランダ語ハ、モウ古イ。世界デハ英語ガ国際語ニナッテイマース。

な…なんてことだ。わたしが今までやってきたことは、すべてむだだったのか!!
くく…

…といつまでもくじけてはいられん。

それなら今から英語の勉強をしてやる！

先生、小石川水道町の森山多吉郎という人が英語を知ってるそうです。

こうして諭吉は、ありとあらゆる方法で英語に取り組んだ。

うむ…少し英語の意味がわかってきたぞ。

やったぁアメリカに行けるー!!

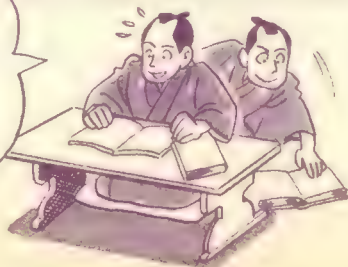
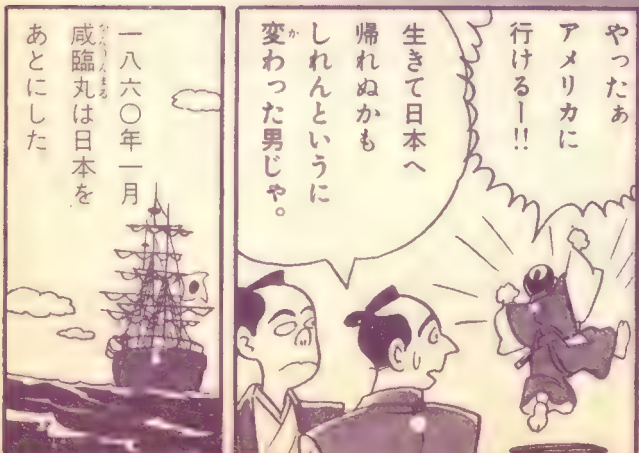
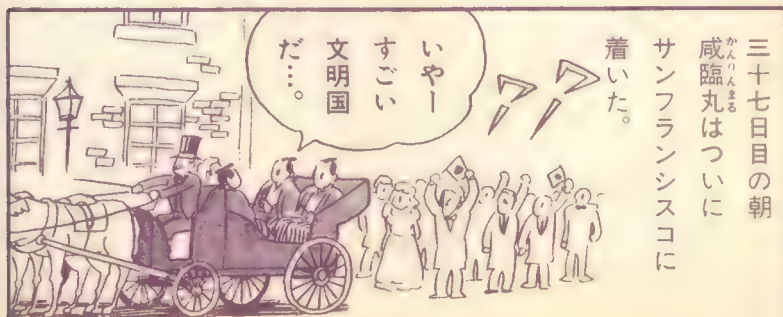
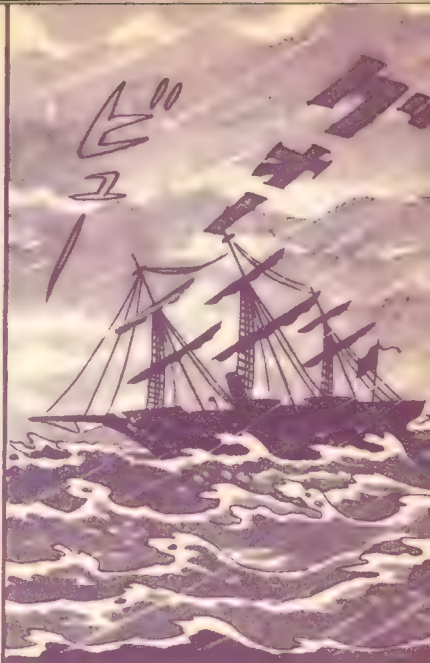
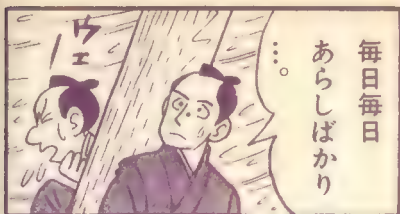
生きて日本へ帰れぬかもしれんというに変わった男じゃ。

グォオー
ビュー

毎日毎日
あらしばかり
…。
ウェ

艦長の
勝海舟様は
部屋に閉じ
こもった
きりだな。
オェー
ウェー

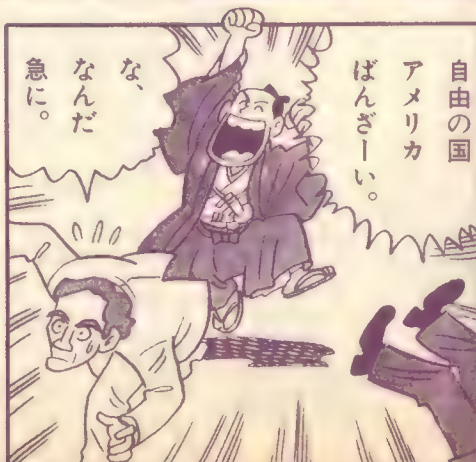
福沢お前、
なんとも
ないのか?
だぁい
じょぶ
だあ…。
ウェ
ウェ
ウェ

三十七日目の朝
咸臨丸はついに
サンフランシスコに
着いた。
ワ
ワ
いやー
すごい
文明国
だ…。

よーし、さっそく英語をためしてみよう。

アメリカ国をつくったワシントン大統領の子孫は、今どうされていますか?
さあ…。女の人がいたはずだが、きっとだれかの奥さんになっているでしょう。

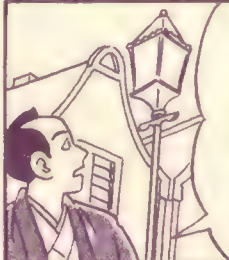
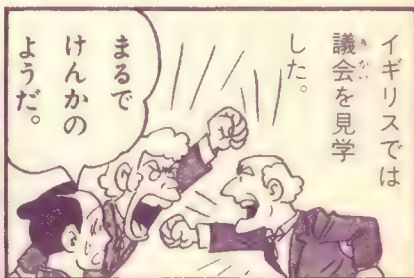
えーっ、な…なんと!
家康の子孫は代々いばっているというのに、この国では個人の手がらと子孫は関係ないのか。

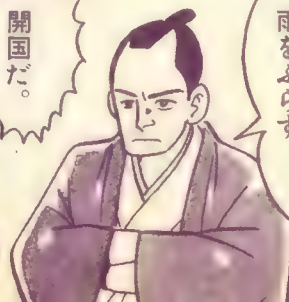
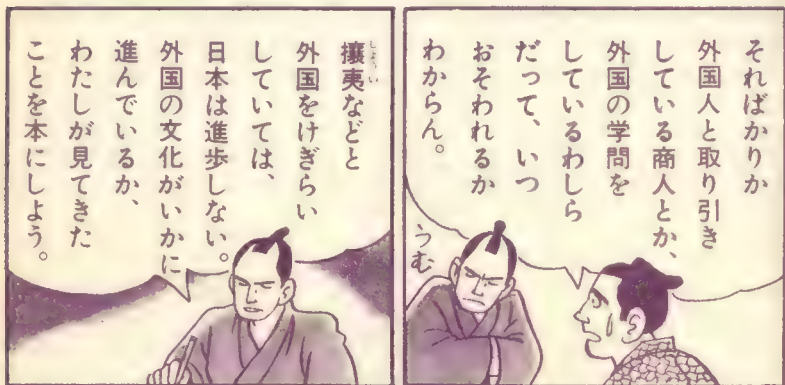
うらやましい…。

自由の国アメリカばんざーい。
な、なんだ急に。

一行はその年の五月にアメリカ視察を終え、日本へ帰った。

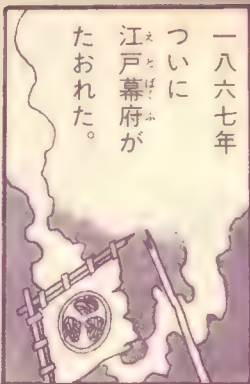
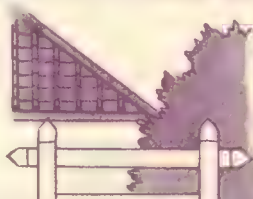
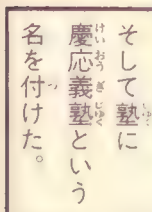
さらに諭吉は一八六二年には、幕府の使節としてヨーロッパへわたった。
今度は無理やり乗せてもらったのではなく、正式のメンバーだぞ。

そ…それにしても日本は世界の文明とくらべるとおくれているなあ。

イギリスでは議会を見学した。
まるでけんかのようだ。

ところがさっきの二人が同じ席で仲良く食事をしている。
これが本当の話し合いの政治なのだな。

それにひきかえ日本ではどうだ。意見のくいちがいから、すぐ血の雨をふらす。
開国だ。
攘夷だ。

攘夷などと外国をけぎらいしていては、日本は進歩しない。外国の文化がいかに進んでいるか、わたしが見てきたことを本にしよう。

◀ヨーロッパへ行った経験をまとめた『西洋事情』。

オランダのハーグへ行ったとき、ぶどう酒を飲む諭吉。(中央)▶

五 学問を通して国につくす

諭吉は大名やしきを買いとって、塾舎に改造した。

そして塾に慶応義塾という名を付けた。

福沢様は変わった人だな。いつ戦争が始まるかもしれんのに。

わしら大工はありがたいけどな。

おい、新政府にはむかう幕府の残党が上野の山にたてこもり、攻げきをはじめたぞ!!

とうとう戦争が始まったか。
ザワザワ
この辺もあぶないから、今のうちににげた方がいいんじゃないか。

戦争がなんだ。お前たちは明日の星をせおって立つ若者なんだ。一日も勉強を休むな。
この塾あるかぎり日本は世界の文明国なのだ!!

そうだ、先生のおっしゃる通りだ。
オウ

慶応義塾の評判は日ましに高まり、日本全国から若者がどんどん集まってきた。

学問がいかに大切か、わかりやすい文章で本にしよう。

江戸時代には言い
たいことも言え
なかったが、これ
からはちがう。
自分の考えを
どんどん発表
できるよう、
演説を練習する
場所をつくろう。

◀慶応義塾大学構内
に残る演説館の入り口

おいっ、これを見ろよ。福沢先生が今度は『時事新報』という新聞をつくられた。
報新事時
政府の悪いところをずばりかいてある。
この新聞はおれたちの味方だな。
報新事時

先生、あまり反政府的なことをかくと先生の身が危ないのでは…。
そんなことにびくついていては国民に正しいニュースは伝えられん!!

だからわたしは役人にならなかったのだ。役人になっては公平な立場で物を見られなくなる…。

こうして諭吉は生がい政治の仕事はせず、学問をとおして国のためにつくしたのである。

人物まんが福沢諭吉のまとめ

一

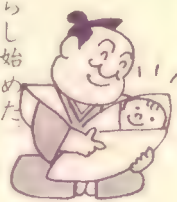
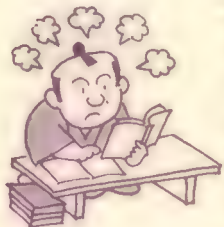
一八三五年、福沢諭吉は中津藩（大分県）の大阪蔵やしきに生まれた。父は中津藩の身分の低い武士であった。

父が死ぬと諭吉たちの家族は、中津に帰ってくらし始めた。

二

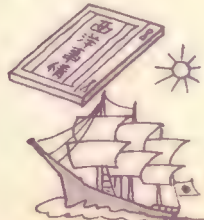
小さいころは、あまり勉強しなかったが、もともと負けずぎらいだったので一たん勉強し出すと、友だちを追いこした。

やがて藩の命令で長崎に出、オランダ語を勉強することになった。

三

しかし家老の息子といっしょだったため、うまく行かず、大阪の適塾に入学した。だが、習得したオランダ語も役に立たないとわかると、英語を勉強した。

四

やがてその英語の力を買われ、アメリカやヨーロッパへ、幕府から派遣された。

その後、その時の経験などを本に著したり、慶応義塾を開いたりして後輩を育てていった。

〈明治の世の中〉のおもな人物像

【明治天皇】 一八五二～一九一二

江戸幕府をたおし、王政復古を実現した天皇。都を東京に移し、憲法を発布して近代国家の形を整え、天皇中心の中央集権国家を確立した。

【伊藤博文】 一八四一～一九〇九

明治時代の政治家。長州藩出身。明治政府の中心となり、大日本帝国憲法の制定につとめ、初代内閣総理大臣になった。のちに暗殺された。

【榎本武揚】 一八三六～一九〇八

幕末～明治時代の政治家。幕府の海軍副総裁となり、函館で政府軍と戦って敗れたが、のち明治政府の外交官や歴代内閣の大臣になった。

【大村益次郎】 一八二四～一八六九

長州藩出身の兵学者。倒幕に活やくして明治政府の兵部大輔になったり、徴兵制を採用して近代軍隊の基礎をつくった。のち不平士族に暗殺された。

【板垣退助】 一八三七～一九一九

明治時代の政治家。土佐藩出身で、国会を開くことを要求して自由民権運動をおこし、日本最初の政党である自由党をつくった。

【植木枝盛】 一八五七～一八九二

明治時代の政治家・思想家。土佐藩出身で、板垣退助の立志社で自由民権運動の理論的指導者として活やくした。自由党の結成につくした。

【大隈重信】 一八三八～一九二二

明治～大正時代の政治家。佐賀藩出身で、立憲改進党をつくり、のちに板垣退助とともに政党内閣を組織した。早稲田大学の創立者でもある。

【福沢諭吉】 一八三五～一九〇一

明治時代の思想家で、慶応義塾大学の創立者。『学問のすすめ』などを書いて、新しい思想を広め、文明開化や自由民権運動に大きな影響をあたえた。

【中江兆民】 一八四七～一九〇一

明治時代の思想家。ルソーの『民約論』を訳して、民権思想を広め、自由民権運動の理論的指導者として活やくした。「東洋のルソー」とよばれた。

【新島襄】 一八四三～一八九〇

明治時代の教育家。漢訳聖書を読んで感動し、幕末にアメリカにわたって大学でキリスト教神学を学ぶ。宣教師として帰国後、京都に同志社大学を設立した。

【前島密】 一八三五～一九一九

明治時代の政治家。江戸時代の飛脚制度を改めるため、イギリスを視察した。帰国後、駅逓頭(郵政大臣)になり、近代郵便制度の基礎を築いた。

【岩崎弥太郎】 一八三四～一八八五

明治時代の実業家。土佐藩出身で、海運業を営む。政府の保護を受けて、西南戦争のとき軍事輸送で巨利を得て、三菱財閥の基礎をつくった。

【渋沢栄一】一八四〇〜一九三一

明治〜大正時代の実業家。明治政府に入って、租税、貨幣、銀行制度を整えた。その後、最初の銀行、「第一国立銀行」を設立、経済の発展につくした。

【井上馨】一八三五〜一九一五

明治時代の政治家。長州藩出身で、明治政府の外務大臣となる。きょくたんな欧化政策をとって、条約改正を有利にしようとしたが、失敗して辞職した。

【山県有朋】一八三八〜一九二二

明治〜大正時代の軍人・政治家。長州藩出身で、松下村塾に学んだ。明治政府の陸軍大臣、総理大臣となり、伊藤博文とともに最高指導者として政治を動かした。

【陸奥宗光】一八四四〜一八九七

明治時代の外交官・政治家。明治政府の外務大臣として、条約改正に努め、治外法権のてっぱいに成功した。また、日清戦争の講和条約を結んだ。

【小村寿太郎】一八五五〜一九一一

明治時代の外交官・政治家。外務大臣として日露戦争後のポーツマス講和条約を結んだ。さらに関税自主権を回復して、不平等条約の改正に成功した。

【桂太郎】一八四七〜一九一三

明治時代の軍人・政治家。長州藩出身で、陸軍大臣をへて、総理大臣となる。日露戦争、韓国併合を首相として指揮し、[illegible]り、政権[illegible]

【内村鑑三】一八六一〜一九三〇

明治〜大正時代の宗教家。アメリカの大学で学ぶ。教会よりも聖書中心の信こうをとく熱心なキリスト教徒で、日露戦争にはキリスト教人道主義の立場から非戦論を唱えた。

【幸徳秋水】一八七一〜一九一一

明治時代の社会主義者。社会主義運動の指導者で、「平民新聞」を出して日露戦争に反対したが、のち大逆事件のとき無実の罪で死刑になった。

【田中正造】一八四一〜一九一三

明治時代の政治家。栃木県出身の代議士で、足尾銅山鉱毒事件を解決するために政府と争う。天皇に直訴しようとして失敗したが、その後も、農民問題にとりくんだ。

【与謝野晶子】一八七八〜一九四二

明治〜昭和時代の女流歌人。「明星」の中心として活やくする。情熱的な作品で知られ、日露戦争のときに「君死にたもうことなかれ」という詩を書いて、戦争に反対した。

【夏目漱石】一八六七〜一九一六

明治〜大正時代の小説家・英文学者。イギリスに留学し、帰国後、「吾輩は猫である」「こころ」などの独特な新しい作品を書いて名声を高めた。

【石川啄木】一八八六〜一九一二

明治時代の歌人・詩人・評論家。実生活を見つめる口語体形式の新しい短歌をつくり、歌人としての地位をかためた。代表的歌集「一握の砂」「悲しき玩具」など。

【坪内逍遥】一八五九〜一九三五

明治〜昭和時代の小説家・劇作家・文芸評論家。「小説神髄」を発表し、西欧の写実主義を取り入れることを主張し、日本近代文学の基礎をつくった。

【滝廉太郎】一八七九〜一九〇三

明治時代の作曲家。東京音楽学校在学中に「花」「荒城の月」などの歌を作曲した。のちドイツに留学したが、二十五才の若さで病死した。

【岡倉天心】一八六二〜一九一三

明治時代の美術研究家。アメリカ人フェノロサとともに日本の伝統美術の復興につとめた。また、東京美術学校をつくって、日本画家の育成に努力した。

【黒田清輝】一八六六〜一九二四

明治〜大正時代の洋画家。フランスに留学して印象派の明るい画風を取り入れ、帰国後、東京美術学校の教授となり、日本の洋画の基礎をつくった。

【北里柴三郎】一八五二〜一九三一

明治〜昭和時代の医学者。ドイツに留学してロベルト＝コッホの教えを受け、破傷風の血清療法を発見する。帰国後、伝染病研究所や北里研究所をつくった。

【野口英世】一八七六〜一九二八

明治〜大正時代の医学者。伝染病研究所で[illegible]のちアメリカに留学、[illegible]病の研究[illegible]、黄熱病[illegible]

明治の世の中Q&A

明治時代になって武士たちはどうなったのかな?

●武士から士族へ

一八六九年、天皇の一族を皇族、公家と大名を華族に、一般の武士を士族に、そのほかは農・工・商を平民とする制度が決められた。華族は、皇族を守るものとして身分を保証され、政府の保護を受けた。

士族には、もとの＊家禄の十パーセントがあたえられたが、それだけでは食べていけず、官吏や軍人、警察官、教師になったり、商人になる者もいた。また、伊達家の分家のような小さな藩では、北海道に土地をもらい、藩

▲士族の商法。なれない仕事なので、失敗するものも多かった

主をはじめみんなが移住して、農民になって開たくしたところもある。

●四民平等の世になって

法律の上では、士農工商という身分制度ははい止されたので、「四民平等」といわれた。しかし、これは形だけのもので、すべての人々が平等になったわけではなかった。皇族、華族、士族、平民という別の形で身分のちがいは残された。また江戸幕府が農民や町人(商・工)の幕府に対する不満をそらすためにつくった農工商よりさらに低い身分の人々も、農・工・商と同じ平民とした。

しかし政府はその人々の実際の生活を高め、差別をなくそうとする積極的な努力をはらわなかったこともあって、これらの人々の就職や結婚、住居、教育などで差別は残り、苦しい生活がつづいた。そして今なお人が人を差別するといったまちがったことが起きたり、差別意識も強く残っている。早くこうしたことをなくすようみんなで努力しなければならない。

▲当時の警察官。士族の出身者が多かった。

◀北海道の開たく。屯田兵とよばれたが、多くは士族とその家族だった。

(明治神宮聖徳記念絵画館)

*家禄…武家社会で、主君が家臣にあたえる給料。

Q 何のために「廃藩置県」を行ったのかな？

●版籍奉還と廃藩置県

一八六九年、版籍（土地と人民）を朝廷に奉還（返す）することが行われたが、旧藩主がもとどおり地方をおさめていたので、明治政府の命令がゆきとどかなかった。

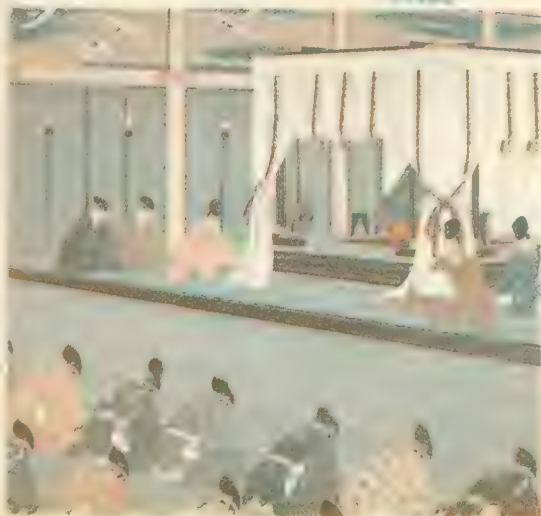
そこで、一八七一年七月、藩を廃して、全国に県を置いた。これを廃藩置県という。

●統一国家をつくるため

政府はこれを実行するにあたり、薩摩・長州・土佐の兵一万を集めて、「御親兵」として、内

山口藩
知事毛利元徳
免本官
辛未七月
太政官

◀藩知事のめん官 これまでの藩知事はやめさせられた

◀廃藩置県をつげる右大臣三条実美 政府は、藩をやめて全国を三つの府と三百二（のちに七十二）の県に分けた。

（明治神宮聖徳記念絵画館）

乱に備えた。しかし、どこの藩でも反こうする力などなかったため、無事に府県の整理ができ、天皇を上にいただく統一国家がうちたてられた。

三府七十二県に整理された各地方には、中央から府知事、県令を派遣して治めることにした。

Q 日本に郵便制度ができたのはいつごろ？

A

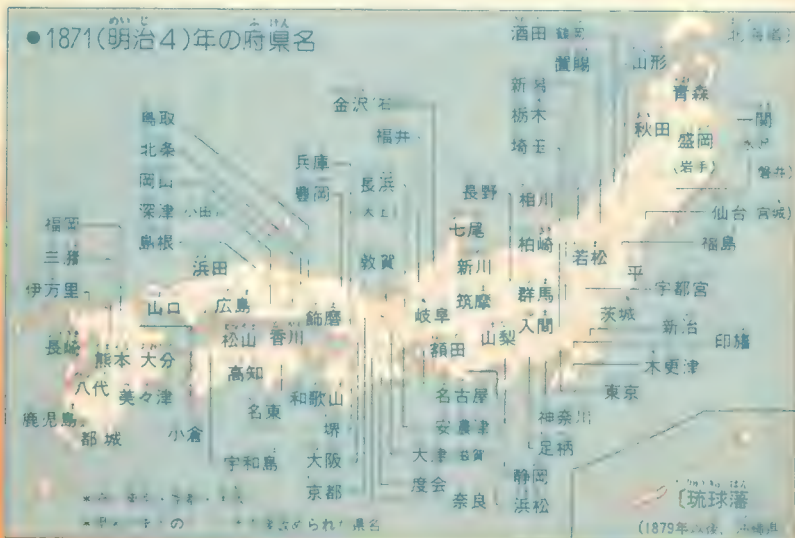
●今から百十七年前

一八七一年、それまでの飛脚にかわる郵便制度をもうけ、切手をはってポストへ入れれば、郵便が届くようにしたのが、わが国の「郵便の父」といわれる前島密である。

前島密はイギリス

▲郵便制度の父、前島密

●1871（明治4）年の府県名

酒田　鶴岡　置賜　山形　青森　秋田　盛岡（岩手）　一関　新潟　栃木　埼玉　仙台（宮城）　福島　若松　平　宇都宮　茨城　新治　印旛　木更津　東京　神奈川　足柄　静岡　浜松　長野　相川　柏崎　群馬　入間　山梨　七尾　新川　筑摩　金沢　福井　長浜　敦賀　岐阜　額田　名古屋　安濃津　大津　度会　奈良　兵庫　豊岡　飾磨　和歌山　堺　大阪　京都　鳥取　北条　岡山　深津　島根　浜田　広島　山口　松山　香川　高知　名東　宇和島　福岡　三潴　伊万里　長崎　熊本　大分　八代　美々津　鹿児島　都城　小倉　琉球藩（1879年以後、沖縄県）

▲明治時代の郵便集配人。こんな姿をして、郵便物を集めたり配ったりした

にわたって、郵便制度を研究し、帰国するや
すぐ、この仕事にとりかかった。

●すぐにはなじめなかった郵便制度

郵便が始まったころには、見なれない郵便という字がポストに書かれているのを、「垂便？　ああ、便所か、それにしても口が高すぎるから、ふつうの日本人には役に立たんな。」と言う人があったそうである。

◀郵便制度ができた最初のころのポスト。毎日午前八時に、このポストは開かれた

逓信博物館

Q 日本で初めて新聞ができたのはいつごろ?

A ●約百二十年前

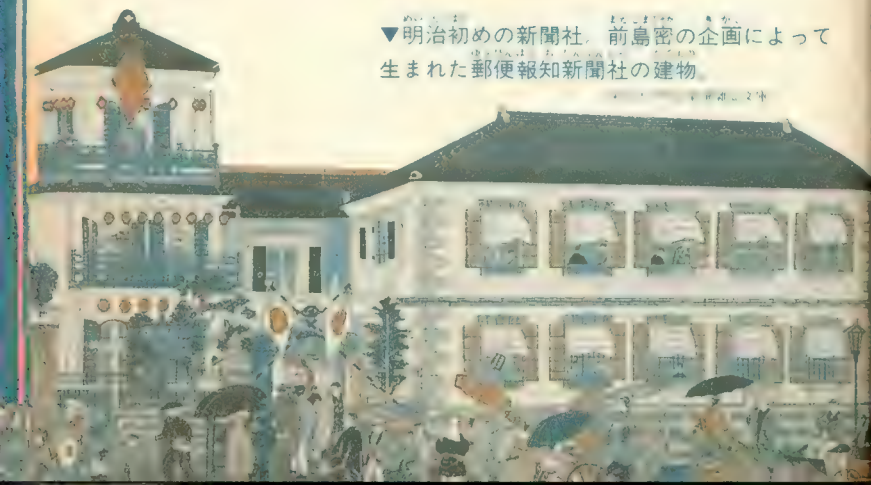
明治維新の文明開化が進んでいたころ、本木昌造のなまり活字の発明などによって、活版印刷ができるようになってきた。

一八七〇年、「横浜毎日新聞」が創刊された。これが日本で最初の日刊新聞である。

●政府を攻げきした新聞社

このころの新聞記者は、武士出身の人が多く、政府に反感をもっていたので、新聞を使って悪口を書きたてた。政府も、「新聞紙条例」などの法律をつくって、新聞社を取りしまった。

▶わが国最初の日刊新聞である「横浜毎日新聞」第1号

▼明治初めの新聞社。前島密の企画によって生まれた郵便報知新聞社の建物。

▼明治初めの軍隊の行進の様子

Q 明治初期の軍隊は、どんなものだったのかな？

A

●政府が管理した兵力

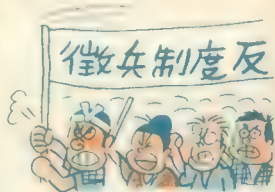
廃藩置県により藩兵がなくなり、全国の城と兵器を政府の兵部省が管理した。

政府は外に対しても、内に対しても強力な近代式軍隊をつくる必要があり、山県有朋が中心となって、軍隊をつくる仕事を始めた。有朋は大村益次郎の考えを受けついで、国民皆兵制（徴兵制）を取り入れようとしたが、士族をはじめ、多くの反対があった。

◀山県有朋

●徴兵令で兵を確保

しかし、一八七二年、

兵部省を陸軍省と海軍省に分け、翌年一月には徴兵令が出された。この結果、士族、平民にかかわりなく、男子で、満二十才のものは徴兵検査をうけ、三年間の兵役についた。ただし、戸主は兵役をめんぜられ、また、官吏や上級学校に進んだもの、二百七十円の金を納めたものは兵役がめん除された。

明治初期の大工場は、どうやって作ったのかな？

●外国の技術・機械にたよる

明治政府は、近代工業をさかんにするために、各地に官営工場（政府が経営する工場）をつくった。

中でも、群馬県の富岡につくられた製糸場は、

▶最初の徴兵検査を受けた若者たち　名前を記したはち巻きや、名札をつけている

▲富岡製糸場の外観　政府が群馬県富岡につくった製糸工場だ。

◀富岡製糸場で働く女工たち　士族や金持ちの娘が多かった。

とくにりっぱなものだった。この富岡製糸場はフランス人技師ブリューナーをやとい入れ、フランスの技術・機械を導入して、一八七二年十月に開かれた。

●士族の娘が働いた富岡製糸場

富岡製糸場は、かまが三百、女工四百人余りで、女工の三割ほどが士族の娘であった。

女工の一人である横田英が書いた『富岡日記』は、当時の工場の様子を伝えている。

▲富岡製糸場の内部　指導する外国人の姿も見える（中央）

Q 当時「陸蒸気」とよばれた乗り物は何？

A

●力を注いだ交通・通信の整備

明治維新後、政府は産業や軍事の土台となる交通・通信機関を整え始めた。大隈重信、井上勝を中心にして国営鉄道の建設を急いだが、財政が苦しいので、イギリス公使パークスの援助で、百万ポンドの借金をイギリスでつのり、イギリスの技師エドモント・モレルの指導で、鉄道建設を始めた。

▲明治初めの新橋駅。日本で最初にできた駅だ

●広がる鉄道路線に走る汽車

一八七二年九月、新橋—横浜間に日本最初の鉄道が開通。一八七四年には大

▲横浜駅を通る陸蒸気。海上には、蒸気船も見える。

阪―神戸間ができ、一八八九年には、今の東海道本線が全通した。汽車は「陸蒸気」といわれ、たくさんの人にめずらしがられた。

しかし、運賃は、東京・横浜間が、上等一円十二銭五厘、中等七十五銭、下等三十銭で、米一升が五銭であったから、ひどく高いものだった。

（一升…1.8ℓ）

■どんどんのびた鉄道

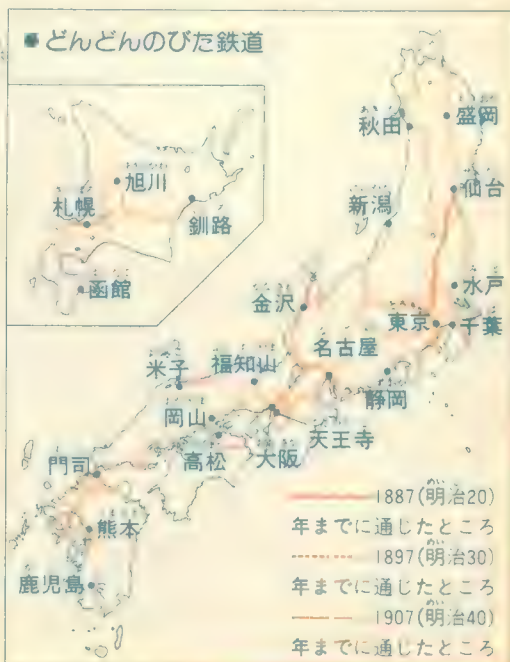
旭川
札幌
釧路
函館
秋田
盛岡
仙台
新潟
水戸
金沢
東京
千葉
名古屋
米子
福知山
静岡
岡山
天王寺
高松
大阪
門司
熊本
鹿児島

1887(明治20)年までに通じたところ
1897(明治30)年までに通じたところ
1907(明治40)年までに通じたところ

AQ

「文明開化」によって人々の生活はどう変わったかな？

●文明開化は床屋から

一八七一年、政府は「ちょんまげを切っても、刀をささなくても、洋

服を着ても、よい」というおふれを出した。
もと武士だった人たちの中には反対する人もいたが、床屋に行ってちょんまげを切りおとし、ざんぎり頭にしてもらう人がふえてきた。

●変わりゆく町と住まい

町の様子もしだいに変わってきた。中でも人々をおどろかせたのは、青白く夜の町を照らすガス灯である。一八七二年のことだった。
一八七八年には、東京の銀座通りがつくられた。れんが造りの建物がならび、馬車や人力車が走った。
食べ物では、このころから多くの人が牛肉を食べ始め、牛肉屋や牛なべ屋がはんじょうした。

◀当時の床屋。ちょんまげを切り、ざんぎり頭にした

▲れんが造りの建物がならび、人力車や馬車などが行きかう東京の銀座通り

明治時代初期の学校は、どんなふうだったのかな？

●寺子屋から小学校へ

一八七二年、学制が発布され、次の年から全国の市町村に小学校が建てられ始めた。初めは、それまでの寺子屋を大急ぎで学校に変えたものが多かった。

●初期の小学校は牛小屋の二階にも

のちに首相となった若槻礼次郎は、若いとき代用教員をやった思い出に、「小学校とはいっても、初めは農家のざしきで教えていたが、ついには、牛小屋の二階が小学校になった。この牛小屋の持ち主が校長で、村

◀若槻礼次郎

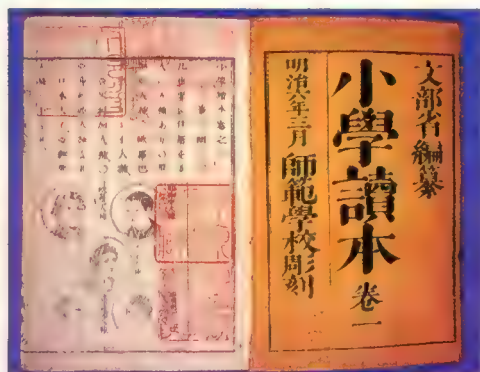
一番の豪農で、年は六十くらいであった。わたしはその家にとまっていたが、食費は村がその人にしはらう。わたしとその校長だけで、この小さな小学校を教えていた。」と書いている。

小学校の建設や費用はすべて町村民の負担で、そのため児童数に応じて授業料をとったが、それも大変で一揆を起こした所もあった。

重要文化財旧開智学校管理事務所

▲1876年、長野県松本市に建てられた洋風の旧開智学校。現在も保存されている。

文部省編纂
小學讀本 巻一
明治六年三月 師範學校彫刻

国立教育研究所

▲1873年に出された小学校1年生用の教科書。文部省が編集したものだ。

◀明治初めの小学校の教室の風景。当時のいろいろな科目の授業の様子がうかがえる。

味燈書屋

Q A 西南戦争とは、どういう戦いかな？

●西郷隆盛の反乱

征韓論に敗れて、郷里の鹿児島に帰っていた西郷隆盛は、一八七七年、三万の軍を率いて政府軍の守る熊本城を包囲した。しかし、守りが固く、なかなか落ちないところへ政府軍の援軍が来て、各地で戦いを交えた。西郷軍は、やっとのことで鹿児島ににげ帰り、城山にたてこもった。そして、政府軍の総攻げきを受け、ここで西郷隆盛は五十一才の生がいを閉じた。この反乱を「西南戦争」という。

(尚古集成館)

▲西郷隆盛

●政府軍の強さ

▲西南戦争における段山の戦い。もっともはげしい戦いといわれる

政府軍六万のうち、戦死傷者は約一万六千人、軍費は四千百五十万円余りの大出費であったが、この戦争によって、強大な軍隊をもつ政府に対して、武力で反こうしてもむだであることがわかり、これ以後、言論を武器とする自由民権運動がおこってきた。

▲政府軍が西郷軍に対してまいた降伏をすすめるビラ。「官軍（政府軍）に降参する者は殺さず」とある。

Q 「自由民権運動」って、どんな運動だったかな？

A

●国民の政治参加運動

一八八一年、「十年後に国会を開く」ことが決められた同じ年、日本で初めての政党「自由党」がたん生した。党首には、板垣退助が選ばれ、全国に燃えあがった自由民権運動の力がここに結集されたのである。

自由民権運動とは、「人間はすべて自由・平等

▲自由民権運動の指導者として活やくした板垣退助。

▲岐阜の演説会場で、板垣退助がおそわれた様子を想像してかいた錦絵。

である。国民はだれでも政治に参加する権利がある」という運動のことだ。自由党は、士族や農民に支持されていた。

●板垣死すとも自由は死せず！

板垣退助は自由党の考えを広めるため、全国を演説して歩いていたが、岐阜の演説会場を出ようとしたとき、一人の男から切りつけられた。このとき、「板垣死すとも自由は死せず」と、さけんだといわれる話は有名である。

Q 「鹿鳴館」とは、どんな建物だったの？

A

●*不平等条約を改正したい！

井伊直弼が結んだ不平等条約の改正に、明治政府はかなりの力を注ぎこんだ。

伊藤博文や井上馨は、「外国に条約改正を認めさせるには、日本が外国と同じ文明国であることを知ら

＊不平等条約…1858年に結ばれた日米修好通商条約のこと。

▲東京日比谷にあった鹿鳴館。イギリス人コンドルの設計によるれんが造り2階建ての建物だった。
◀鹿鳴館では、毎夜このような舞踏会が開かれた。

せなければだめだ」と考えた。
そこで、刑法、民法、商法などの法律を整える一方で、国民の風俗や習慣などをヨーロッパ風にあらためようと考えた。

●ヨーロッパ風大宴会場

そこで政府は、一八八三年、日比谷公園のわきに、大金を投じて、ヨーロッパ風の「鹿鳴館」という大宴会場を建てた。
そこへ外国人を招き、ダンスパーティーや仮そう会を毎夜のようにもよおした。
ここには、伊藤博文をはじめ、政府の大臣、華族、軍人、金持ちらがその夫人や娘を着かざらせてあらそって出席した。

大日本帝国憲法は、ドイツの憲法をまねたって、本当?

明治神宮聖徳絵画館蔵

◀大日本帝国憲法の発布式。明治天皇から、総理大臣黒田清隆に憲法が授けられた。

●主権在君の憲法

一八八九年二月十一日に「大日本帝国憲法」が発布されたが、その内容は、今の憲法のように「主権在民」ではなく、「主権在君」の憲法であった。

主権は人民ではなく天皇にあり、内閣は天皇が任命した。また、外交・宣戦・講和・陸海軍の統帥権などの大きな権利は、天皇だけにあった。

●ドイツをまねた憲法

大日本帝国憲法がこのような内容になった理由は、伊藤博文が、先進国の憲法や議会制度を調べるためにヨーロッパに行ったとき、プロシア(ドイツ)でビスマルクに会って意見を聞き、君主の権限の強いプロシア憲法を手本にしようと考えたからだ。

明治の世の中　年表とまとめ

時代	世紀	西暦	おもなできごと
明治時代	19世紀	一八六八	●鳥羽・伏見の戦いが起こる。 ●五か条の御誓文が出される。
		一八六九	●天皇が東京にうつる。 ●版籍奉還が行われる。
		一八七一	●郵便制度ができる。 ●廃藩置県が行われる。 ●岩倉具視らが欧米の視察に出発する。
		一八七二	●福沢諭吉の『学問のす(す)め』が出る。 ●新しい学校制度を定める。 ●新橋と横浜の間に鉄道が開通する。 ●太陽暦が使われるようになる。

【㊀明治政府の新政策―①】

①文明開化　洋服の着用、ランプやガス灯の利用、れんが造りの建物など、西洋の文化がとり入れられた明治初めの様子をいう。

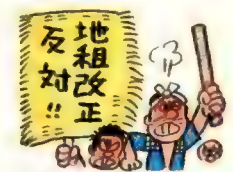
②廃藩置県　政府は、一八七一年に藩を廃止して全国を三府七十二県に分け、政府が任命した知事・県令に治めさせた。

③学校制度を定める　一八七二年に政府は全国に小学校をつくることとし、国民の教育に力を入れた。

時代	世紀	西暦	おもなできごと
明治時代	19世紀	一八七三	●徴兵令が出される。 ●地租改正が行われる。 ■西郷隆盛、板垣退助らが征韓論をめぐる争いに敗れ、明治政府を去る。
		一八七四	●板垣退助らが、民撰議院設立の意見書を政府にさし出し、自由民権運動がおこされる。 ●『明六雑誌』が出される。 ●台湾に出兵する。
		一八七五	●ロシア(ソ連)と、千島・樺太の交かんをする。
		一八七六	●不平士族の反乱が各地で起こる。

【㊀明治政府の新政策――②】

①**四民平等**　政府は、士農工商の身分制度をやめ、農工商の人たちもみょう字を名のれるようにした。しかし、完全な四民平等ではなかった。

②**徴兵令**　「富国強兵策」を進めるために、満二十才の男子に三年間の兵役を義務づけた。人々は、一家の働き手を失うことに不満をもった。

③**地租改正**　土地の値段の三パーセント(のちに二・五パーセント)をお金で支はらうもの。年貢の負担と変わらず、各地で地租改正反対一揆が起こった。

明治時代	
19世紀	
一八七七	●西南戦争が起こる。(このころ全国に自由民権運動が広がり、政党がつくられる) ●東京大学がつくられる。 ●博愛社(のちの日本赤十字社)がつくられる。 ●第一回内国勧業博覧会が開かれる
一八八一	●国会開設の詔が出される ●板垣退助が自由党をつくる
一八八二	●伊藤博文が憲法調査のために、ヨーロッパへ行く ●大隈重信が立憲改進党をつくる。
一八八三	●鹿鳴館ができる

【(二)強い国をめざして】

(1)殖産興業　政府は、全国各地に官営の模はん工場を建て、工業をさかんにしようとした。このことを「殖産興業」とよんでいる。

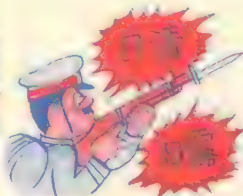
2西南戦争　征韓論に敗れた西郷隆盛は、鹿児島に帰り青年たちを指導した。青年たちは、西郷をおしたてて西南戦争を起こしたが、政府軍に敗れた。

3自由民権運動　「今の政府は、国会を開いて広く国民の意見を聞くべきだ」という自由民権運動が広がり、国会開設への道を開いた。

時代	世紀	西暦	おもなできごと
明治時代	19世紀	一八八五	●内閣制度がつくられ、伊藤博文が初代内閣総理大臣となる
		一八八九	●大日本帝国憲法が発布される。
			●東海道線が全通する（東京・神戸）。
		一八九〇	●第一回帝国議会が開かれる。
		一八九四	●日清戦争が起こる。
		一八九五	●下関条約に調印する。
	20世紀	一九〇一	●八幡製鉄所が生産を開始。
		一九〇二	●日英同盟が結ばれる。
		一九〇四	●日露戦争が起こる。（しだいに重工業が発達。）
		一九一〇	●韓国を併合する。
		一九一一	●この年までに、諸外国との条約改正が終わる

【㈢世界にのびる日本】

①憲法と国会　伊藤博文は、内閣制度をつくった。一八八九年に大日本帝国憲法が発布され、その翌年に、第一回帝国議会が開かれた。

②日清・日露戦争　一八九四年に日清戦争、一九〇四年に日露戦争が起こり、ともに日本が勝った。この二つの戦争ののち、日本の工業は急速に発展していった。

③条約改正　日本が幕末に西洋諸国と結んだ不平等条約は、*ノルマントン号事件をきっかけに、その後全面改正された。

＊ノルマントン号事件…イギリスの貨物船ノルマントン号が難破したとき、イギリス人だけが救われ、日本人全員が死亡した事件

←世界にほこる日本の高速鉄道、新幹線　24年前、東海道新幹線がまず開通した。

第三部　大正と昭和の世の中

日本は、戦争のどろぬまに入りこんでいった。そして、多くのぎせいをはらい、敗戦をむかえた……。

↓差別との戦いや労働運動も高まった

学習まんが

第一次世界大戦で人々のくらしはどう変わったのだろう

絵・

一九一四年に起こった第一次世界大戦は、日本の経済や政治に大きな影響をあたえた。

◀原敬

◀吉野作造

1 米騒動、全国に広がる

わっ
わが世の春じゃ。はっはっ。

金庫がはちきれんばかり……。

あなた方のように軍需産業関連の資本家は、大いにもうかっていらっしゃる。
何をおっしゃる……。

あなた方米商人こそ暴利をむさぼっておられる。

おたがいさまおたがいさま…。

ガチャン
なにごとだ！

米の値上がりにおこった群衆があばれこんできたのです。

一九一八年(大正七年)富山県の漁村で主婦たちのおこした米の値下げ運動。
ワー
ワー
ワー

子どもがはらをすかして待ってるのよ。
よしてよおかみさん。

米騒動は、またたく間に全国へ広がった。
ぶちこわせ!
米問屋

火をつけたり、打ちこわしたり、

ワー
ワー
ワー

おい
こら
やめんか。

ガツン
手におえん！

全国各地でおこった米騒動は軍隊が出動してやっとしずまった。

しずまれ！
命令をきかんやつは、射殺するぞ。

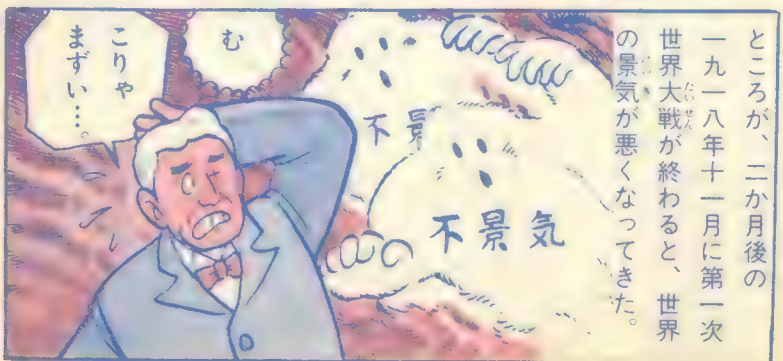
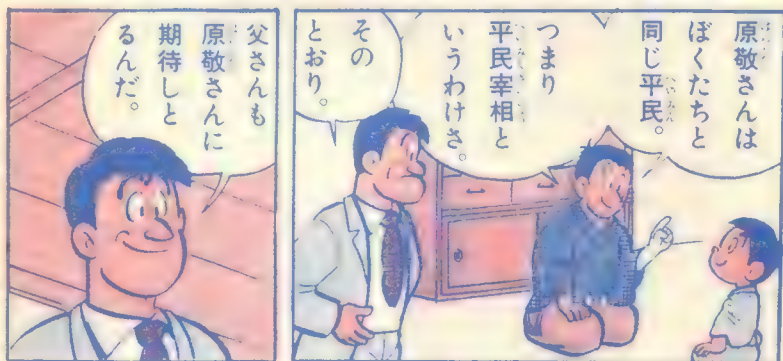
2
普通選挙制度を求めて運動が起こる

米騒動の
責任をとって
寺内内閣は
たおれた。
一九一八年九月
立憲政友会の原敬
が首相となって
陸軍、海軍、外務
以外は政党で
かためた内閣
をつくった
原敬
登場!
寺内首相
ゴトン
内閣

いよいよ政党
政治が
始まるぞ。
なあに
お兄ちゃん、
その政党政治
というのは。

政党政治は、政党が政権を
担当し運営するものだ。
このころ東大の
吉野作造教授は
民本主義を唱え、
政治をするに
ついては民衆
のことも重
んじなければ
ならない。

▲吉野作造

＊藩閥政治…明治維新で中心となって活やくした指導者か、出身藩を通じ派閥を作り政治を独占したこと

*軍閥…軍事力をもとに政治などを独占した軍人のこと

生活が苦しくなった労働者は、団結して賃金引き上げを要求するようになっていった、

ワー!

そして一九二〇年、日本最大の八幡製鉄所で大きなストライキが行われた。

しかし、原内閣は要求を認めなかった。

原内閣はしだいに世論の支持を失っていった。
一九二一年十一月
おにいちゃん、東京駅で原首相が青年にさされて亡くなったよ！
号外

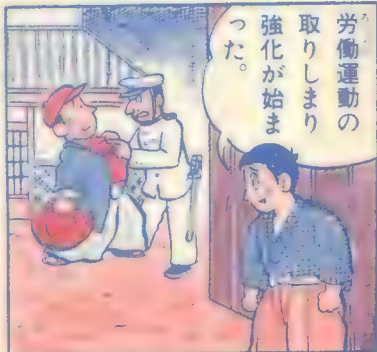
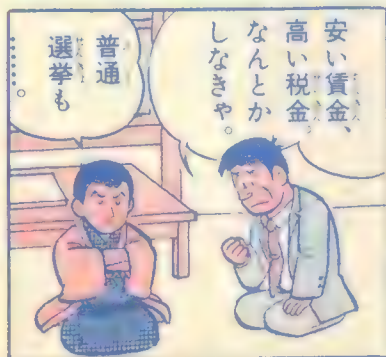
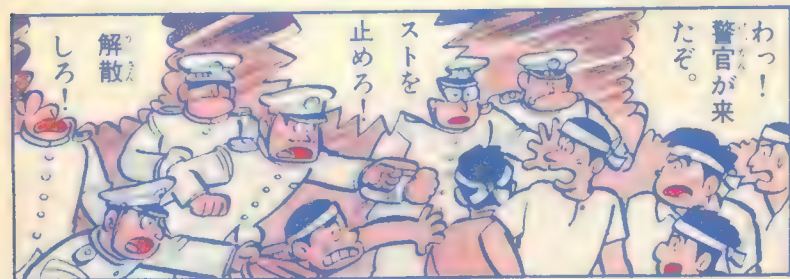
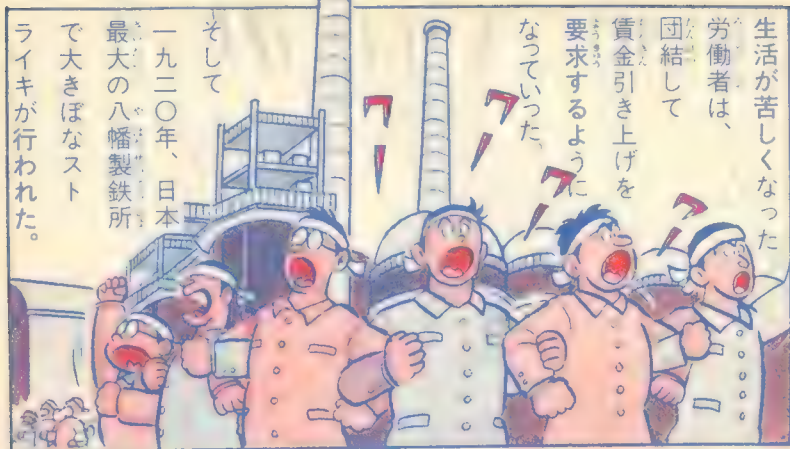
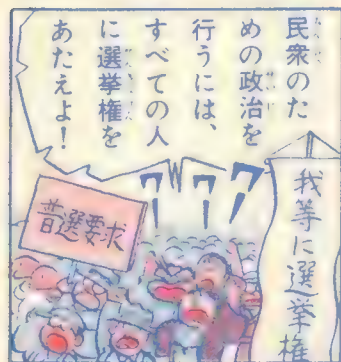
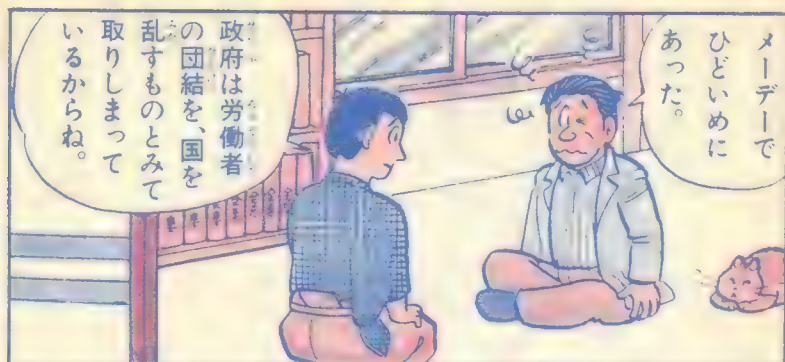
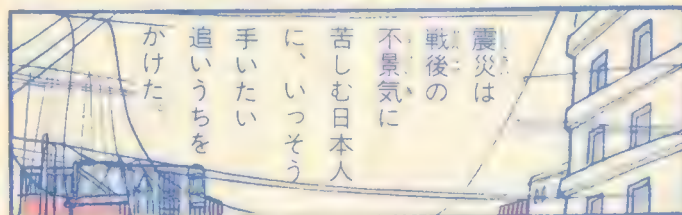
ええっ！

期待した政党政治もおしまいか。
がっくり

がっかりしてちゃだめだよ。正しい政治をするために、団結して普通選挙を実現させなくちゃならないんだろう。
そうだ！

団結することを知ったのは、労働者ばかりではない。いわれのない差別に悩む人たちが一九二二年に全国水平社という団体をつくった
水平社
人間の真の解放を目ざしてたたかうのだ！

3 普通選挙は実現したが…

*治安維持法…いっさいの反体制的な運動を取りしまる法律。

歴史読み物

日本はこうして戦争への道を進んでいった

文・[illegible] 絵・[illegible]

信雄はまだ小さかった。戦争がどんなものかも知らず、戦争に行きたいと思っていたが……。

一 日本の大陸しん略

「大変な世の中になったものだ……」

信雄はまだ五才だったが、父がため息をつきながら、こうつぶやいたのを覚えている。

当時、満州事変を起こすなどして、軍人の力がしだいに強くなっていた。その現れが一九三七年七月に始まった日中戦争である。ペキン（北京）郊外で中国軍としょうとつした日本軍は、首都ナンキン（南京）を占領し、さらにしん略を続けていた。

「中国には外国の援助があるし、軍隊と国民がいっしょになってねばり強くていこうする。この戦争は日本にとって不利だし失敗だ。」

信雄の父は、こう思ったが、口に出せない。戦争が進むにつれて軍人が政治を動かすようになり、国民が戦争に反対することは許されなくなったからだ。

いや、それればかりか、長期戦になると生活用品が不足しだして、国民は不自由な生活をがまんしなければならなくなった。

「兵隊さんたちは、戦場でお国のために戦っているんだから、わたしたちもぜいたくを言わないでくらしましょう。」

母があきらめ顔で言った。

一九三九年、ヨーロッパでは、ドイツがポーランドを攻げきしたのをきっかけに、第二次世界大戦が始まっていた。

ドイツはイタリアと手を組み、イギリス、フランスなどの連合国と戦い、ヨーロッパの国々を次々と占領していく……。

「お父さん。ヒトラーが指導するドイツは強いね。デンマーク、ノルウェー、オランダ、ベルギーを攻めて、とうとうフランスを降伏させてしまったよ。」

信雄が声をはずませて言うと、

「そうだね。日本はドイツと軍事同盟を結ぶだろう。いいチャンスだもの……。」

父の言う通りだった。日中戦争からぬけきれない日本は、ドイツ、イタリアと三国同盟を結んだ。そして、中国を助けるアメリカやイギリスと対立するようになっていった。

始まった太平洋戦争

一九四一年十二月八日、とつぜんラジオは臨時ニュースを国民に伝えた

「帝国陸海軍は、今日八日未明、西太平洋において、アメリカ軍、イギリス軍と戦とう状態に入りました。」

およそ三百五十機の飛行機をのせた航空母艦などの日本艦隊が、ハワイの真珠湾にあるアメリカ軍事基地を攻げきしたのだ。また、日本陸軍はマレー半島にいたイギリス軍を攻げき。第二次世界大戦のアジアでの戦争、太

平洋戦争を日本が引き起こしたのだ。

「すごいなあ。日本の陸海軍が進めば必ず勝つんだもの。よしっ、ぼくも大きくなったら軍人になって大活やくするぞ」

大勝利のニュースを知り、勇ましい軍人の話を聞いた小学生の信雄は、自分も早く大人になって戦争に行きたいと思った。

そんな信雄を父は困ったように見つめていたが、大変なことが起こった。兵士として戦場へ行けという命令が、父にきたのだ。

「お父さん。大手がらを立ててね。」

信雄は口では明るく言ったが、父がいなくなると思うとさびしかった。

日本軍は東南アジアの各地や、太平洋上の島々をどんどん占領していったが、一九四二年六月からその占領地をアメリカ軍にうばい返されていった。

帝國米英に宣戦を布告す

西太平洋に戦闘開始

宣戦の大詔渙發さる

▶日本の宣戦布告を報じる新聞。

アメリカが態勢を立て直して、大反げきを始めたのだ。そして、日本の本土が空しゅうにおびやかされるようになっていった。

降伏した日本

「みなさん、お父さん、お母さんからはなれて、遠い農村へそかいするのはさびしいでしょうが、戦争に勝つためです。力を合わせて、がんばってください。」

信雄たち東京の小学校三年生から六年生までの子どもたちは、空しゅうからのがれるために、集団で農村へそかいすることになったのだ。

校長先生にはげまされるようにして、信雄たち小学生はそかいしたが、なれない生活にとまどい、食料も不足しがちだった。

「ああ、おなかがすいたな、家へ帰りたいな」

信雄は東京の方を向いてつぶやいた。

そんな信雄に悲しい知らせが入った。父が南方の戦場で戦死したことと、空しゅうのため東京の自分の家が焼かれてしまったことだ。

「信雄君、元気を出しなさい。お母さんはご無事で親せきの家に住んでいるそうです」

先生に言われて、信雄は小さくうなずいた。

信雄たちが集団そかいしているころ、アメリカ軍の反げきは硫黄島から沖縄にまでおよんでいた。

しかし、政府は戦争には勝っていると発表して、国民には本当のことを知らせなかった。だが、ついには本土で決戦することを国民によびかけることになった。

こうした政府にショックをあたえたのは、一九四五年五月、アメリカ、イギリス、ソ連

などの連合国軍に攻められてドイツ軍が降伏、そして、八月六日に広島、九日には長崎に原子爆弾が落とされ、さらに、ソ連が満州（中国の東北地方）やサハリン（樺太）などを攻げきしたことだった。

八月十五日、ついに日本は連合国が降伏を勧めたポツダム宣言を受け入れた。一九三一年の満州事変以来、十五年も続いた戦争が、やっと終わったのだ。

「お母さん！」

戦争が終わり、東京に帰った信雄は、家が焼かれて、小屋のような仮の家に住んでいる母の胸に泣きながらとびついていった。

「戦争はいやだ。お父さんをうばわれるし、家もなくなってしまった……。」

戦争という名の悪魔をのろいながら、信雄は体をふるわせて大声で泣いた。

（おわり）

▲ポツダム会議に出席した英・米・ソの３巨頭

学習まんが

戦後の日本は大きく変わった

絵・伊東章夫

民主主義により新しく生まれ変わった日本は、国際連合にも加盟し、急速な成長をとげていった。

◀マッカーサー元帥

▼吉田茂

▶池田勇人

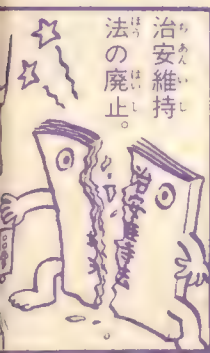
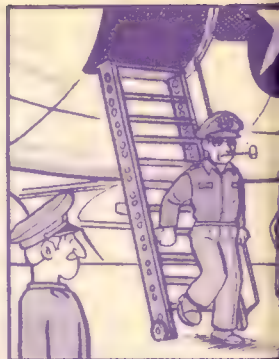
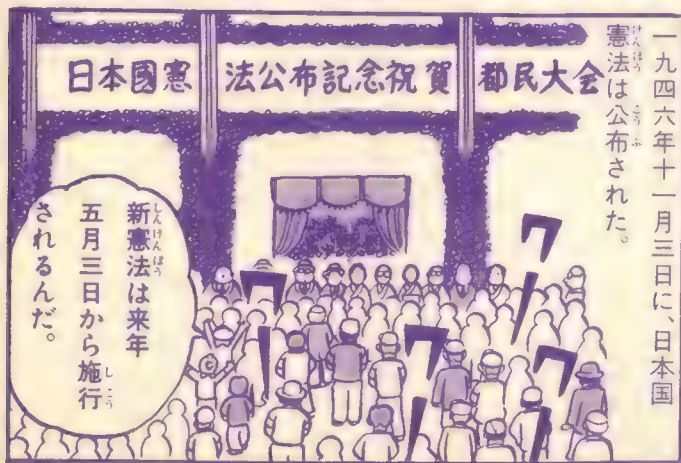
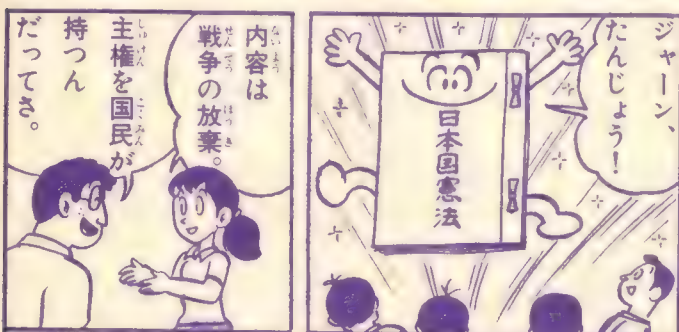
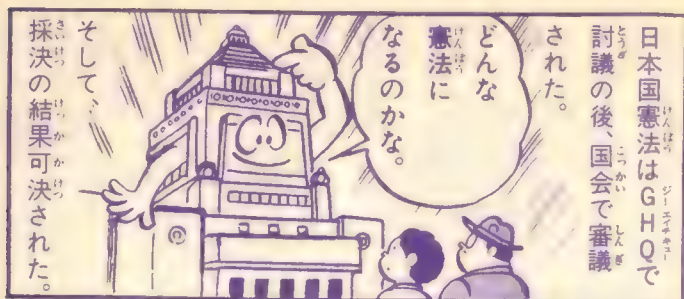
1 民主主義の国にするために

東京に連合国軍総司令部(GHQ)をおき、きびしい占領政策を始めた。
日本を民主主義の国にするためてっていてきに軍国主義をなくそう。
まずは軍隊の解散だ。

何だこの教科書は。あちこちすみで消してある。

民主主義に反するところは全部すみでぬりつぶすんだってさ。

財閥解体。
二十才以上の男女に選挙権をあたえる。
選挙権
選挙権
三井

農地改革
よぶんな土地をもっている地主から国が安く買いあげ、小作人にただみたいな値だんで売ってくれた。
大地主
小作人

2 日本国憲法が公布される

3 朝鮮戦争が起こり、経済が立ち直る

4 国際連合への加盟が認められる

一九五六年には日本はソビエトと国交を回復する共同宣言に調印した。

この年の十二月国際連合に加盟が認められ再び世界の仲間入りができた。

5 急成長した経済と社会問題

一九六四年の東京オリンピックがひきがねになり成長ブームがまきおこった。すばらしい道路や建物、そして東海道新幹線ができた。それと同時に日本の経済は急成長した

わっはっは
高度成長とともに大もうけ。
わっはっは

経済の高度成長のつけがまわってきた。工場のはい液のたれ流しなどによる公害だった。
たれ流しをやめろ!
煙をだすな
川をよごすな

科学技術が発達し、日本製品は優秀で安く、たくさん外国に輸出された。
このままだと我が国の産業はつぶれてしまう。

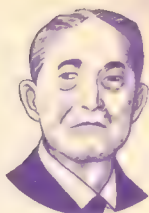
もっと我が国の産物を輸入してください。
コメ

終戦の痛手からたちなおった日本は、経済的に豊かな国になった。
ハタラキスギ!

これからは、先進国として世界のもはんとなるような国にならなくちゃいけないわ。
それをやるのは、これからのぼくたちの仕事だ。

〈大正と昭和の世の中〉のおもな人物像

【犬養毅】 一八五五〜一九三二

明治〜昭和時代の政治家。尾崎行雄らと普通選挙運動に力をつくし、のち立憲政友会総裁となり内閣を組織したが、五・一五事件で暗殺された。

【尾崎行雄】 一八五九〜一九五四

明治〜昭和時代の政治家。藩閥政府に反対して護憲運動をおこし、普通選挙法の成立に力をつくしたので、「憲政の神様」とよばれた。

【原敬】 一八五六〜一九二一

明治〜大正時代の政治家、立憲政友会総裁となり最初の本格的な政党内閣をつくり、「平民宰相」とよばれて期待されたが、暗殺された。

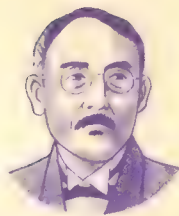
【吉野作造】 一八七八〜一九三三

大正〜昭和時代の思想家。欧米に留学して民主主義を学ぶ。帰国後、東京大学の教授となり民本主義を唱えて、普通選挙法の成立につくした。

【西園寺公望】 一八四九〜一九四〇

明治〜昭和時代の政治家。公家出身で、フランス留学後、外交官・総理大臣となり、第一次世界大戦の講和会議の日本全権として活やくした。

【新渡戸稲造】 一八六二〜一九三三

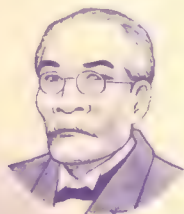
明治〜昭和時代の教育者。京都大学・東京大学の教授をつとめ、のち国際連盟事務次長となり世界平和につくし、日本を海外に広く紹介した。

【加藤高明】一八六〇～一九二六

明治～大正時代の政治家。立憲同志会を憲政会と改め、総裁となる。護憲三派内閣の総理大臣となり、普通選挙法を制定させたが、同時に非民主的な治安維持法も定めた。

【芥川龍之介】一八九二～一九二七

大正時代の小説家。夏目漱石の門下となって、『杜子春』『河童』『羅生門』などのすぐれた作品を発表する。当代の鬼才といわれたが、三十六才の若さで自殺した。

【武者小路実篤】一八八五～一九七六

大正～昭和時代の小説家。トルストイのえいきょうを受け、志賀直哉や有島武郎らと「白樺」を発行して、人道主義の文学運動をすすめた。

【小林多喜二】一九〇三～一九三三

大正～昭和時代の小説家。銀行につとめながら「蟹工船」を発表してプロレタリア文学界に地位をしめたが、のち思想犯としてたいほされ、ごう問で殺された。

【平塚雷鳥】一八八六～一九七一

大正～昭和時代の婦人運動家。雑誌「青鞜」を発刊し、その発展として新婦人協会をつくって婦人参政権運動をすすめ、婦人解放に努力した。

【浜口雄幸】一八七〇～一九三一

大正～昭和時代の政治家。立憲民政党総裁となって内閣を組織し、ロンドン軍縮条約に調印するなど国際協調をすすめたが、東京駅でうたれ、それがもとで死亡した。

【高橋是清】一八五四～一九三六
大正～昭和時代の政治家。日本銀行の総裁をつとめたのち、立憲政友会総裁になる。大蔵大臣も歴任したが、軍備拡張に反対したため、二・二六事件で軍人に暗殺された。

【松岡洋右】一八八〇～一九四六
大正～昭和時代の外交官。国際連盟を脱退するときの日本代表をつとめたのち、外務大臣となり、日独伊三国軍事同盟や日ソ中立条約を結んだ。

【近衛文麿】一八九一～一九四五
昭和時代の政治家。三度総理大臣をつとめる。戦争には消極的であったが、軍部をおさえられず、日中戦争を起こし、太平洋戦争開始直前に辞職した。

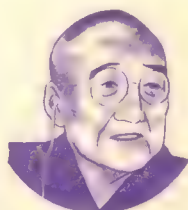
【東条英機】一八八四～一九四八
昭和時代の軍人・政治家。陸軍大臣をへて、総理大臣となり、独裁体制のもとに太平洋戦争にとつ入したが、敗戦後、A級戦争犯罪人として死刑になった。

【蔣介石】一八八七～一九七五
日中戦争のときの中国の指導者。日本に勝って中華民国の総裁となったが、毛沢東の率いる共産党に敗れ、台湾にのがれて国民政府をつくった。

【毛沢東】一八九三～一九七六
中華人民共和国の国家主席。中国革命の指導者。中国共産党の結成に参加し、日中戦争後、蔣介石との内戦に勝って、社会主義の中華人民共和国を成立させた。

【ヒトラー】一八八九～一九四五
オーストリア出身のドイツの独裁政治家。ナチス党を指導して総裁となり、強力な独裁政治を行う。日本やイタリアと結んで第二次世界大戦を引き起こした。

【ムッソリーニ】一八八三～一九四五
イタリアの独裁政治家。ファシスト党を組織し、政権をにぎる。ドイツ・日本と結んで第二次世界大戦に参戦したが、敗れて死刑になった。

【マッカーサー】一八八〇～一九六四
アメリカの軍人。第二次世界大戦後、連合国軍最高指令官として来日して日本の占領政策を行い、日本の民主化をはかって、新憲法の制定などをすすめた。

【吉田茂】一八七八～一九六七
昭和時代の政治家。第二次世界大戦後、五回総理大臣となり、新憲法の制定や講和条約・日米安全保障条約に調印し、戦後の日本の方向づけをした。

【湯川秀樹】一九〇七～一九八一
日本で最初にノーベル賞を受けた物理学者。原子核を結びつける中間子の存在を予言し、この理論の正しさがアンターソンによって証明され、ノーベル賞を受けた。

【川端康成】一八九九～一九七二
日本で初めてノーベル文学賞を受けた小説家。新感覚派とよばれる文学運動をおこした。「雪国」や「伊豆の踊子」などの名作を書いた。

大正と昭和の世の中Q&A

Q 第一次世界大戦で景気がよくなったって本当?

A

●ゆきづまっていた日本経済

一九一四年、第一次世界大戦がヨーロッパで起こったころ、日本の経済はゆきづまっていた。

日露戦争後、大工場ができ、たくさんの物がつくられるようになったが、それを売りさばく国外の市場がせまかったため、思うように品物をさばけなかった。また、国民の多くも貧しかったので、購買力は高まらなかった。

●**第一次世界大戦で市場を広げる**

こうしたときに、第一次世界大戦が起きた

▼第一次世界大戦で、日本はドイツの根きょ地である中国のチンタオ(青島)を占領した。その時の祝賀のパレード。

ので、日本は日英同盟を理由に、むりやり連合国側について、戦争に参加した。
日本は、中国大陸に進出し、市場を大きく広げた。このため、日本の経済はぐんぐん回復していった。なかには、戦争でもうけて大金持ちになった人もいて、「成金」とよばれた。

▼大戦景気で多くの成金が出た。これは、おさつを燃やして明かりにする成金をえがいたものだ。

Q 「越中の女房一揆」とは、どんな一揆なのかな？

A

●富山県で起きた女房一揆

一九一八年八月五日の東京日日新聞は「漁夫の女房が大挙して、米の安売りをせまる」という見出しで、富山県に起こった事件を報道した。これが「越中の女房一揆」として有名な事件で、米騒動のきっかけとなった。
戦争によって米価が上がり、それまでの小売価格が一升（一・四kg）につき十五銭だったのが

(徳川黎明会)

▲名古屋における米騒動。各地でこのような騒動が引き起こされた。

二十五銭、三十銭と上がり、五十銭をこえるようになった。

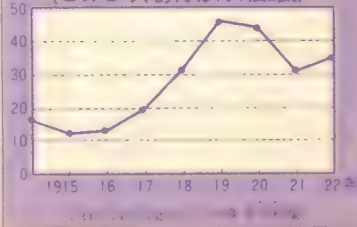
●米の買いしめが原因

これは、シベリア出兵をみこんで商人たちが米を買いしめたためで、米騒動とは、生活に苦しくなった都市でくらす人々が、苦しさにたえかねて起こした暴動のことである。

Q 日本は、国際連盟の中でどんなはたらきをしたの？

A

●常任理事国として活やく

国際連盟は第一次世界大戦終了後の一九二〇年、ベルサイユ条約で、戦争を防ぐための国際平和機関としてつくられた。

▲フランスのベルサイユ宮殿で行われたベルサイユ講和会議。ここでベルサイユ条約が結ばれた。

◀国際連盟脱退の最後の演説をする松岡洋右全権。

▲旧国連本部の中庭に置かれている黄金球。アメリカの大統領がおくったものだ。

連盟には、総会と理事会、常任理事会が設けられ、事務局はスイスのジュネーブに置かれた。

日本はイギリス、フランスなどと同じく、大国の一つとして、常任理事国に選ばれた。

●リットン調査団に反発し脱退

しかし、一九三三年、満州国設立にともなう日本のやり方に、国際連盟が派遣したリットン調査団は「日本軍はすみやかに満州国からひきあげるべき」の勧告案をつきつけた。これに対して日本は、「日本政府は、これ以上、連盟には協力できない」と述べ、「さようなら」の一語を残して、十三年間いた連盟を脱退してしまった。

普通選挙法によって選挙はどう変わったのかな？

●もっと多くの人に選挙権を！

明治時代につくられた選挙法は、二十五才以上の男子で、年に十五円以上の直接国税を納める人にだけ（のちに十円以上）選挙権を認めていた。

それに対して、「もっと多くの国民に選挙権をあたえるべきだ」という、普通選挙運動が起こった。この先頭に立ったのが尾崎行雄や犬養毅であった。

●ついに実現した普通選挙

一九二五年に選挙法が改正され、満二十五才以上の男子に納税額の制限なく選挙権をあたえ、三十才以上の男子に被選挙権をあたえるという新しい選挙法ができた。有権者数は四倍に増えたが、婦人にはまた、選挙権はあたえられなかった。

▲デモ行進の先頭に立つ、普通選挙運動の指導者尾崎行雄。（中央）

◀犬養毅。後に首相となり五・一五事件で殺された。

関東大震災によって、どれくらいの死者が出たのかな？

▲関東大震災後の東京。地震のはげしさがうかがえる。

A

●お昼直前に起きた大地震

一九二三年九月一日午前十一時五十八分、関東地方に大地震がおそった。

つぶされたり、焼けたりした家は約七十万戸、災害にあった人約三百四十万人、死者約十万人、電信、電話、交通がとまり、新聞も発行できなくなったほどである。その損害は五十億円（当時）。

●史上空前の大被害！

東京本所（江東区）の工場あとのあき地には、四万人ほどがひなんしたが、多くが焼け死んだ。

それまでの大地震といえば江戸時代の安政の大地震だったが、このときの死者約七千人、焼けてなくなった家の数は約十万戸だったから、関東大震災の悲さんさがわかるだろう。

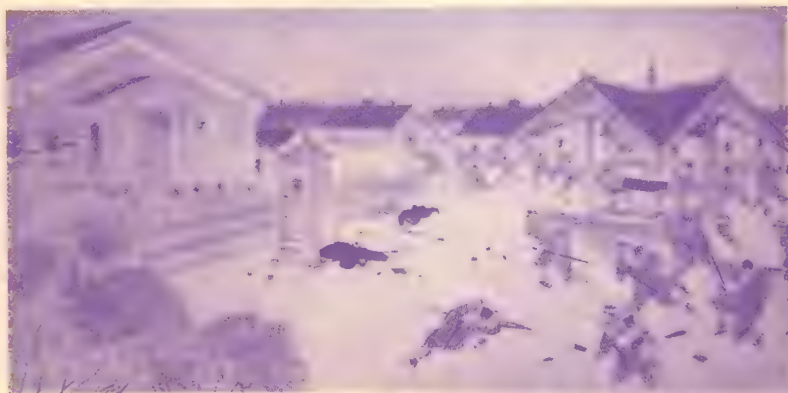
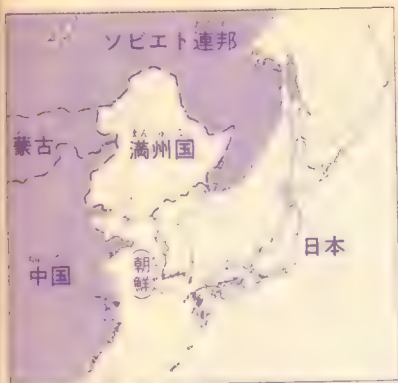
Q 満州国って どんな国だったのかな？

A

●中国東北部を支配する日本軍がつくった

日本は、日露戦争以後、中国東北部を勢力はん囲にすることに力を注いできた。そして一九三二年三月、ついに「満州国」をつくった。この国の元首として溥儀（清の最後の皇帝）をあて、主だった役人も、かつての清の高官ばかりだった。

●日本の指導のもとに

しかし、実権を支配したのは日本軍で、満州国政府はあやつり人形でしかなかった。このため、世界でもこの国を認めたのは、ドイツなど数か国にすぎなかった。

▲日本軍は満州に新政府をうちたてようと、はげしい軍事行動を続けた

▲皇居前広場に集まって、日本国憲法の公布を祝う人々。

Q 日本国憲法の特色は、どんなことかな？

A

●民主的な憲法

新憲法の特色は、天皇を国民と国家の統合の象徴としたり、「主権在民」「基本的人権の尊重」など、きわめて民主的になったことである。また、第九条の「永久に戦争をやらない」という条文は国民の心にぴったりたりするものである。

●大歓げいでむかえられた新憲法

日本国憲法は、一九四六年十一月三日に公布され、翌年五月三日から施行された。

このとき、多くの国民は新しい憲法を大喜びで受け入れた。

日本で最初にノーベル賞を受賞したのはだれかな?

●国民に希望の光・湯川秀樹博士

太平洋戦争の敗戦によって大きな痛手を受けた日本は、戦後、必死に復興にはげんだ。そうした一九四九年、物理学者の湯川秀樹博士が、原子核の理論で、国際学界で最高の名よであるノーベル物理学賞を、日本人で初めて受賞した。これは、敗戦で自信を失っていた国民を、おおいに元気づけることになった。

●その後も、次々と受賞

この後も、日本人の活やくか認められ、朝永振一郎(物理学賞)、江崎玲於奈(物理学賞)、福井謙一(化学賞)、川端康成(文学賞)、佐藤栄作(平和賞)、そして最近では利根川進(医学・生理学賞)がノーベル賞を受賞している。

▲日本人で初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士。

◀1949年12月10日、スウェーデンで行われた授賞式右側が湯川秀樹博士。

大正と昭和の世の中　年表とまとめ

時代	世紀	西暦	おもなできごと
大正時代	二十世紀	一九一四	●第一次世界大戦に日本が参戦する （重化学工業が発達する。）
大正時代	二十世紀	一九一八	●米騒動が起こる。 ●原敬が最初の政党内閣をつくる。 （民主化を求める運動が広がる。）
大正時代	二十世紀	一九二三	●関東大震災が起こる。
大正時代	二十世紀	一九二五	●普通選挙法が公布される。 ●ラジオ放送が始まる。
昭和時代	二十世紀	一九二八	●第一回普通選挙が行われる。
昭和時代	二十世紀	一九三一	●満州事変が起こる。
昭和時代	二十世紀	一九三七	●日中戦争が始まる。

【一 戦争への道】

①**米騒動と政党内閣**　第一次世界大戦後、米の値段が急げきに上がった。そのため、米騒動が全国に広がり、時の内閣はたおれ、原敬の政党内閣がたん生した。

②**普通選挙運動**　尾崎行雄らは、普通選挙を求める運動を進め、一九二五年に普通選挙制度が定められた。

③**日中戦争**　一九三七年に北京の近くで中国軍との戦いの火ぶたがきられ、日本と中国の全面戦争が始まった。

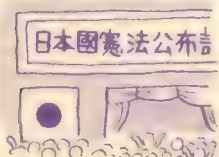
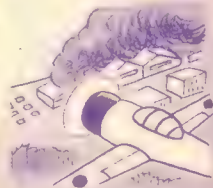
西暦	おもなできごと
一九三九	●第二次世界大戦が始まる
一九四〇	●日独伊三国軍事同盟が結ばれる
一九四一	●太平洋戦争が始まる
一九四五	●広島・長崎に原子爆弾が落とされる。 ●ポツダム宣言を受け入れて、連合国に降伏する。 ●財閥解体が行われる。 ●婦人に参政権があたえられる。
一九四六	●初の男女平等普通選挙が行われる。 ●農地改革が行われる。 ●日本国憲法が公布される
一九四七	●教育基本法・学校教育法が出され、六・三制教育が始まる。

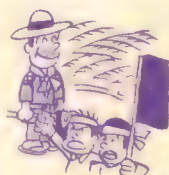
【㈡敗戦と新しい出発】

①第二次世界大戦　一九三九年に第二次世界大戦が始まった。そして、一九四一年に、日本がハワイの真珠湾をおそい、太平洋戦争にとつ入した。

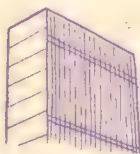
②日本の無条件降伏　太平洋戦争はしだいに日本の敗色がこくなってきた。そうした中で、一九四五年八月に、広島と長崎に原爆が投下され、無条件降伏をした。

③日本国憲法の制定　戦争に敗れた日本は、一九四六年に日本国憲法を定めた。この憲法の制定により、日本は民主主義の道をめざしてスタートした。

昭和

- ●新憲法が施行され、第一特別国会が開かれる。
- 一九四九 ●湯川秀樹博士が、日本人として初めてノーベル賞を受ける。
- 一九五〇 ●金閣が焼ける
- 一九五一 ●サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約が結ばれる。
- 一九五三 ●テレビ放送が始まる
- 一九五六 ●ソ連との国交が回復する
- ●国際連合に加盟する
- 一九六四 ●第十八回オリンピック大会が東京で開かれる
- 一九七二 ●沖縄が日本に復帰する
- ●日本と中国との国交が正常化される
- 一九七八 ●新東京国際空港（成田空港）が開港する
- ●日中平和友好条約を結ぶ

【㊂平和を求めて】

①戦後の改革 戦後になってから、農地改革、労働組合の活動、六・三制義務教育といった改革が次々に行われた。

②平和条約を結ぶ 戦後の日本は、アメリカを中心とした連合国軍に占領されていたが、一九五一年に四十八か国と平和条約を結び、日本はついに独立。同時に日米安全保障条約を結んだ。

③国連への加盟 一九五六年にソ連と国交を回復した日本は、その年に国際連合への加盟が認められ、国際社会への一員として活やくを始めた。

日本の歴史(下) さくいん

●みなさんが歴史を学習するうえで、ぜひ覚えておきたいことがらや人物(太字)、事件などをとり上げました。
●何度も登場する事柄は「人物まんが」や「Q&A」などの大きなまとまりで初めて出てくるページを示しました。

あ

か

さ

た

な

は

Q&Aの項目一覧表

教科書の「歴史」の勉強がよくわかる
人物まんが
日本の歴史㊦

この学習教材の編集にご協力くださったかたがた

●監修・埼玉大学教授　田代脩／敦賀女子短期大学教授　土橋俊一

●指導／文・東京都世田谷区立中丸小学校教諭　高橋則行／名古屋市立田代小学校教諭　倉地允視／神奈川県川崎市立宮前平中学校教諭　柳川正実／きりぶち輝

●絵・野崎猛／山内ジョージ／山口太一／森正人／上総潮

●人物まんが・ムロタニツネ象／田中正雄／人見倫平

●学習まんが・伊東章夫

●写真・茨城県近代美術博物館／豪徳寺／東京大学史料編纂所／長府博物館／峯岸徳太郎／山口県文書館／東京国立博物館／久能山東照宮博物館／明治神宮聖徳絵画館／国文学研究資料館／毛利博物館／通信博物館／博物館明治村／野々上慶一／日本通運株式会社／重要文化財旧開智学校管理事務所／㈲味燈書屋／国立教育研究所教育図書館／粟津国哉／尚古集成館／靖国神社／高知県懐徳館／東京大学明治新聞雑誌文庫／関口維新／国立国会図書館／徳川黎明会／吉田常吉／共同通信社／慶応義塾大学図書館／東海銀行貨幣資料館

●制作協力・冬陽社(岡村浩史)／清水秀子

●デザイン・アニマルハウス

●企画／編集・早川光二(編集長)／葛坂登（副編集長)／片岡優／前田太郎

6年の学習　10月教材　第2学習教材＝社会科　第43巻第7号　1988年10月1日発行　発行人　児山敬一／編集人・本郷左智夫　発行所　株式会社学習研究社　〒145 東京都大田区上池台4-40-5　電話(03)726-8270(学習編集部直通)　(03)726-8111（案内番号）　振替口座番号東京8-142930　印刷所　三晃印刷株式会社／岩岡印刷工業株式会社

■この学習教材に関するお問い合わせ、お気づきの点がありましたら、下記あてご連絡をお願いいたします。文書は、〒145 東京都大田区上池台4-40-5 学研　お客さま相談センター「6年の学習」係。電話は、東京(03)726-8124。

人物まんが「日本の歴史」㊦には…

坂本龍馬と西郷隆盛

動乱の幕末に生きた龍馬と隆盛。今もなお輝きを放つその活やくの感動物語。

伊藤博文

明治維新後、日本の最高指導者となった博文。近代国家へ仲間入りするために何をしようとしたのか？

福沢諭吉

独学で英語を修め、欧米に三度もわたった諭吉。独立自尊の精神の下、教育と啓蒙活動に力を注いだ…。

楽しい人物まんがのほかにも、それぞれの人物のまとめ、おもな人物像、Q&A、年表とまとめがあって、歴史の学習にピッタリ。

●11月教材には,「歴史」の勉強がよくわかるデスクメモリー『パックン』がつくよ。

●名前

●この学習教材のねらい

江戸時代末から現代までの様子が人物まんが，Q&A，年表とまとめなどで楽しくわかります。

【表紙の写真の説明】（表表紙—上から）明治時代に輸入された西洋の時計。新政府軍が使った錦の御旗(右)。薩英戦争に使われたイギリス軍の砲弾(左)。明治政府が発行した二十円金貨。（裏表紙）大正時代に使われた蓄音機。

3 10-121-67 Printed in Japan